



# WinActor Manager on Cloud Version 4.0

## チュートリアルブック

NTT アドバンステクノロジー株式会社

## 商標について

本書において以下に記載された名称、およびその他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®、©マークは省略しています。

- Microsoft、Windows<sup>※1</sup>、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※1 Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

- その他の記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

## 本書について

この「WinActor Manager on Cloud チュートリアルブック」（以下、本書）は、WinActor Manager on Cloud（以下、WinActor Manager）をより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載したチュートリアルです。

本書は、WinActor Manager を利用して WinActor を運用、管理、実行するユーザを対象としています。

### ■ 本書に関する注意

- 本書および提供するソフトウェア類に付された著作権表示の変更、削除をすることはできません。  
本書の著作権は NTT アドバンステクノロジー株式会社に帰属します。
- 本書では、Windows の操作方法や機能を理解されていることを前提として説明しています。本書に記載されていないことについては、Microsoft が提供しているドキュメントなどをご覧ください。




### ■ マニュアルの構成

WinActor Manager のマニュアル全体の構成については、以下を参照してください。

WinActor Manager on Cloud スタートアップマニュアル	WinActor を WinActor Manager に接続するための準備方法を記載しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル	WinActor Manager の画面構成と基本的な操作方法について記述しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud シンプルモードユーザーマニュアル	シンプルモードユーザーが WinActor Manager の画面を操作するためのマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud アンサンブルエディタユーザーマニュアル	WinActor Manager の一機能であるアンサンブルエディタをより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud チュートリアルブック	WinActor Manager をより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載しているチュートリアルです（本書）。
WinActor Manager on Cloud WinActor 接続台数制限ユーザーマニュアル	WinActorManager に接続できる WinActor 台数制限の設定時と非設定時の違いを記述しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud MCP サーバーユーザーマニュアル	WinActor Manager の一機能である MCP サーバーの操作方法について記載しているマニュアルです。

## ■ 本書のアイコン

本書で使用しているアイコンおよび記号の意味は、以下のとおりです。

	特に重要な情報
	本文、画面説明、操作などへの補足的な情報
	本書の他のページや他のマニュアルなどへの参照情報

## WinActor Manager の利用環境

WinActor Manager を利用するための前提条件を以下に示します。

- WinActor と WinActor Manager の間の HTTPS 通信が可能であること。
- WinActor Manager にログインするためのブラウザとして、Google Chrome を使用すること。

## WinActor Manager の使用に関する注意

WinActor Manager を使用する場合、以下の点にご注意ください。

- WinActor Manager は、WinActor で使用するシナリオやデータファイル、WinActor がタスクを実行した結果ファイルを取り扱います。このため、シナリオやデータファイルおよび結果ファイルには、個人情報など含まれている可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- WinActor Manager は、端末にインストールされた WinActor を自動的に実行する機能を有しています。他者への迷惑行為を自動的に実行するなど、公序良俗に反する行為には使用しないでください。

## 目次

商標について .....	i
本書について .....	ii
WinActor Manager の利用環境 .....	iv
WinActor Manager の使用に関する注意 .....	iv
目次 .....	v
1. ファイル登録からスケジュール登録までを行うには .....	1
1.1 ファイル登録からスケジュール登録までの流れ .....	1
1.2 シナリオファイルをアップロードする .....	2
1.3 シナリオを登録する .....	4
1.4 スケジュールを登録する .....	6
2. 複数のシナリオをまとめて実行するには .....	11
2.1 シナリオを準備する .....	11
2.2 シナリオを登録する .....	13
3. 機能タグを利用して実行する WinActor を選択するには .....	16
4. シナリオと変数の値をやりとりするには .....	21
4.1 シナリオを準備する .....	21
4.2 シナリオを登録する .....	26
4.3 結果を確認する .....	33
5. シナリオと入出力ファイルをやりとりするには .....	35
5.1 シナリオを準備する .....	35
5.2 シナリオを登録する .....	41
5.3 結果を確認する .....	47
6. 日時以外のタイミングでシナリオを実行するには .....	49
6.1 シナリオを準備する .....	49
6.2 シナリオを登録する .....	50
6.3 データを登録する .....	54
7. 複数のシナリオを連続して実行するには .....	61
7.1 シナリオを準備する .....	61
7.2 シナリオを登録する .....	63
7.3 シナリオを実行する .....	71

8. 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには.....	74
8.1 シナリオを準備する .....	74
8.2 シナリオを登録する .....	77
8.3 シナリオを実行する .....	89
9. データを分割して複数の WinActor で実行するには.....	94
9.1 シナリオを準備する .....	94
9.2 シナリオを登録する .....	99
9.3 シナリオを実行する .....	105
10. 承認後にシナリオを開始するには.....	110
10.1 シナリオを準備する .....	110
10.2 シナリオを登録する .....	111
10.3 シナリオを実行する .....	115

# 1. ファイル登録からスケジュール登録までを行うには

ここでは、シナリオファイルのアップロード、シナリオの登録、スケジュールの登録を行う方法について説明します。

## 1.1 ファイル登録からスケジュール登録までの流れ

WinActor Manager を使って WinActor にシナリオファイルを実行させるにはいくつかの登録作業を行う必要があります。以下に示す、タスクとしてシナリオを実行するまでの最も基本的な流れについて説明します。

① シナリオファイルのアップロード



② WinActor Manager へのシナリオの登録



③ スケジュールの登録



- 本節ではシンプルな登録の流れを説明します。シナリオ登録やスケジュール登録では本節で説明する項目以外にもパラメータ等の設定を行うことができます。



詳細なシナリオ登録やスケジュール登録方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7. シナリオを管理する』『8. スケジュールを管理する』を参照してください。

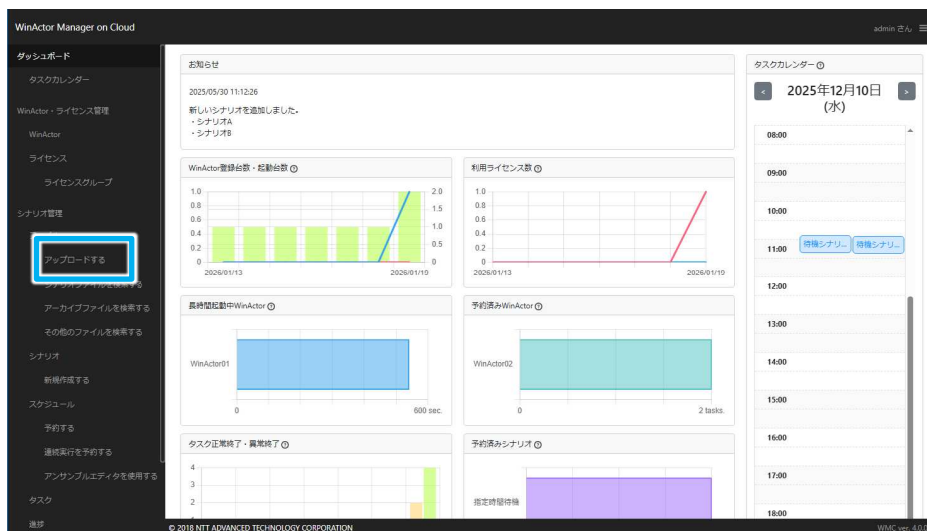


## 1.2 シナリオファイルをアップロードする

シナリオファイルをアップロードしてみましょう。

### Steps

1. 「ダッシュボード」画面で、「ファイル」の「アップロードする」リンクをクリックします。



ファイル画面の「アップロード」エリアが表示されます。

2. アップロードするシナリオファイルを選択します。
  - ① 「ファイルを選択」ボタンをクリックして、アップロードするファイルを選択します。「ファイル名」にシナリオファイル名が入ります。
  - ② 必要に応じて、ドロップダウンリストから所属を選択します。



➡ ファイルの管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6. ファイルを管理する』を参照してください。

3. [OK] ボタンをクリックします。

アップロード

所属 共有

ファイル	ファイル名	ファイルタグ	説明
指定時間待機.ums7			

64文字以下 200文字以下

ファイルを選択

OK

シナリオファイルが登録され、結果のダイアログが表示されます。

×

選択したファイルがアップロードされました。  
アップロードされたファイルは以下の通りです。

指定時間待機.ums7

閉じる

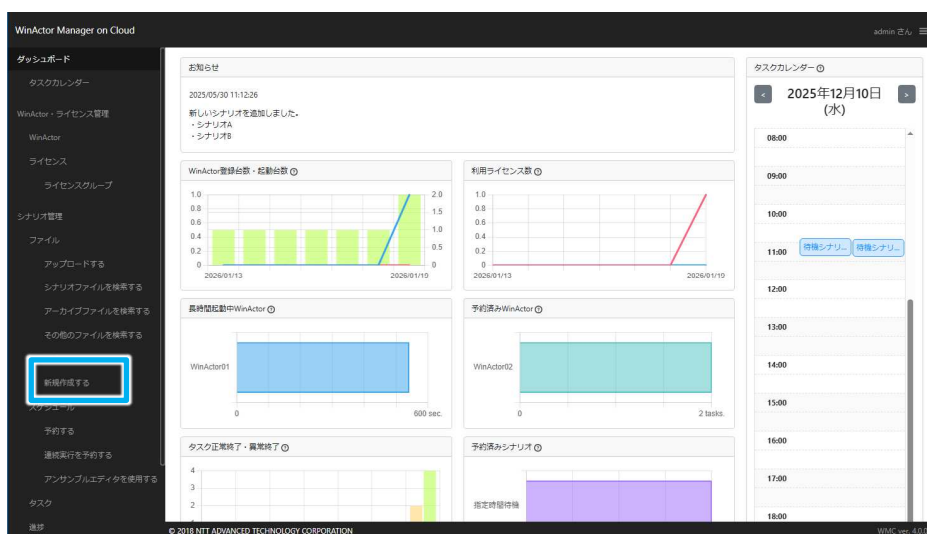
[閉じる] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

## 1.3 シナリオを登録する

シナリオを登録してみましょう。

### Steps

1. 「ダッシュボード」画面で、「シナリオ」の「新規作成する」リンクをクリックします。



シナリオ画面の「新規作成」エリアが表示されます。



2. 実行対象のシナリオファイルを選択します。

- ① シナリオファイルの「参照」ボタンをクリックします。



ファイルの選択画面が表示されます。

- ② 「検索結果一覧」で、先ほどアップロードしたシナリオファイルを選択します。



- 「検索条件」エリアでは、条件を指定してシナリオファイルを検索できます。
- ➡ ファイルの検索方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- ダイアログの外側をクリックすると、選択せずに画面を閉じることができます。

3. シナリオの新規作成エリアに戻ります。「シナリオファイル」に選択したシナリオファイル名が設定されます。「シナリオ名」に何も設定していない場合は、シナリオファイル名から拡張子を除いた文字列が入ります。この状態を確認したら[OK]ボタンをクリックします。



シナリオが登録され、結果のダイアログが表示されます。



[閉じる] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

## 1.4 スケジュールを登録する

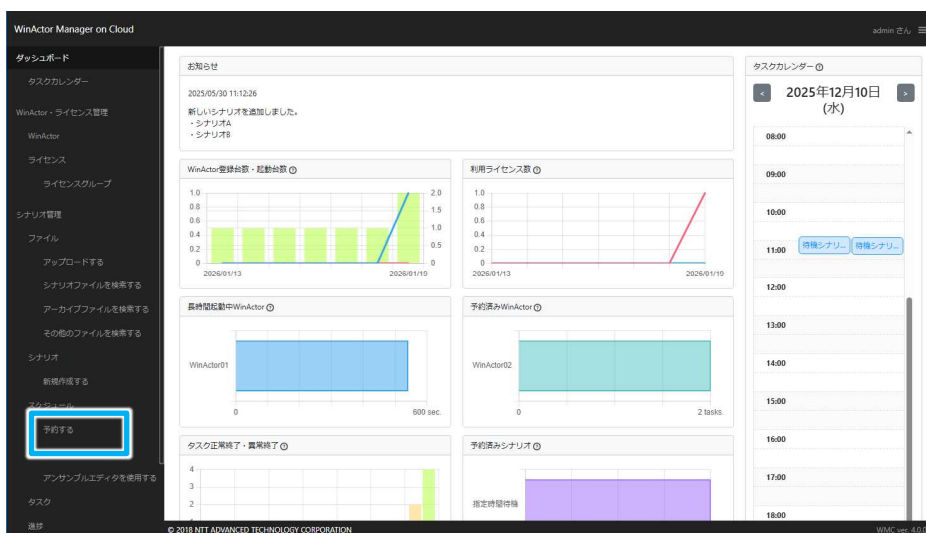
スケジュールを登録してみましょう。



シナリオ登録画面とスケジュール登録画面は似ているため、間違えないようにご注意ください。

### Steps

1. 「ダッシュボード」画面で、「スケジュール」の「予約する」リンクをクリックします。



スケジュール画面の「スケジュール登録」エリアが表示されます。

2. 実行対象のシナリオを選択します。

- ① シナリオ情報の「参照」ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名  64文字以下

シナリオ情報  **参照** ① 選択してください

所属 共有

入力パラメータ

実行予定WinActor 指定なし

実行指定 種別

即時

日時を指定せずにスケジュールを登録します。登録したスケジュールから1回だけシナリオを実行します

シナリオの選択画面が表示されます。

② 「検索結果一覧」で、先ほど登録したシナリオを選択します。

検索条件

シナリオID 部分一致  英数字記号32文字以下

シナリオ名 部分一致  64文字以下

所属

検索結果一覧

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

シナリオ名	所属	シナリオタグ	機能タグ	更新日時	選択
指定時間待機				2025/06/23 17:56:17	② <input type="button" value="選択"/>

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件



- 「検索条件」エリアでは、条件を指定してシナリオを検索できます。
- ➡ シナリオの検索方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- ダイアログの外側をクリックすると、選択せずに画面を閉じることができます。

3. スケジュールの新規作成エリアに戻ります。「シナリオ情報」に選択したシナリオ名が設定されます。「スケジュール名」に何も設定していない場合は、シナリオ名が入ります。

#### 4. 実行予定の WinActor を選択します。

- ① 「シナリオを実行する WinActor を指定する」 ボタンをクリックします。

WinActor の選択画面が表示されます。

- ② 実行予定の WinActor を選択するため、「検索結果一覧」の WinActor 名の前にあるチェックボックスをクリックします。
- ③ 「選択確定」 ボタンをクリックします。



- 「検索条件」エリアでは、条件を指定して WinActor を検索できます。
- WinActor の検索方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- ダイアログの外側をクリックすると、選択せずに画面を閉じることができます。

5. スケジュールの新規作成エリアに戻ります。「実行予定 WinActor」に選択した WinActor 名が設定されます。実行予定の WinActor は複数選択することができます。

6. 「実行指定」でスケジュールを実行するタイミングを設定し、[OK] ボタンをクリックします。ここでは「即時」を選択します。

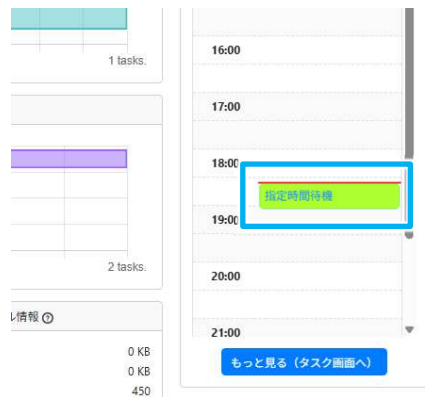


スケジュールの管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『8. スケジュールを管理する』を参照してください。

スケジュールが登録されます。また、スケジュールの登録に合わせてシナリオファイルの実行単位である「タスク」も登録されます。

7. ダッシュボードのタスクカレンダーに、登録されたタスクが表示されます。





## 8. 登録されたタスクをクリックすると、タスクの詳細情報が表示されます。

タスクID

krzSpTU21ruwWpmwYP2Pnw

タスク名

指定時間待機

所属

状態

待機中

ファイルに関する情報

シナリオファイル名

指定時間待機.um57 (版数ID: 未定)

シナリオファイル更新者

admin

シナリオファイル更新日時

2025/06/23 17:33:22

シナリオに関する情報

シナリオ名

指定時間待機

シナリオ更新者

admin

シナリオ更新日時

2025/06/23 17:56:17

スケジュールに関する情報

スケジュール名

指定時間待機

アーカイブ

シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

異常終了時のみ送信する

実行指定

種別

即時

スケジュール更新者

admin

スケジュール更新日時

2025/06/23 18:34:37

タスクに関する情報

入力パラメータ

データ一覧ファイル

生成日時

2025/06/23 18:34:37

実行予定WinActor

WinActor@WinActor

実行予定日時

2025/06/23 18:34:37

実行に関する情報

出力パラメータ

アーカイブファイル

リトライ実行済み回数

0

開始日時

実行に使用したWinActor

終了日時

エラー

更新日時

2025/06/23 18:34:37

タスク確認状態

未確認

実行時間(秒)

0

タスク確認状態

中断

一括削除

アーカイブファイル履歴 ⓘ

アーカイブファイル履歴はありません。

## 2. 複数のシナリオをまとめて実行するには

WinActor Manager では、複数のシナリオを連続して実行することができます。

ここでは、連続して実行するためのシナリオの作成方法と、WinActor Manager へのシナリオの登録方法について説明します。

### 2.1 シナリオを準備する

WinActor で、連続して実行したいシナリオを、個別のファイルとして作成しましょう。

シナリオ GoTo ライブラリを利用すると、次に実行するシナリオファイル名を指定できます。

ここでは、「main.ums7」と「scenario2.ums7」という2つのシナリオを連続して実行する例について説明します。



複数のシナリオを実行する場合、シナリオファイルを ZIP 形式のファイルとして圧縮します。実行すると、最初に「main.ums7」が呼び出されます。

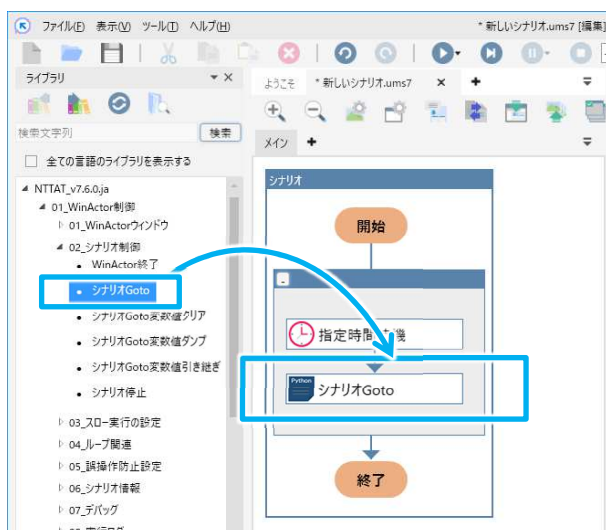


WinActor の操作方法については、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。

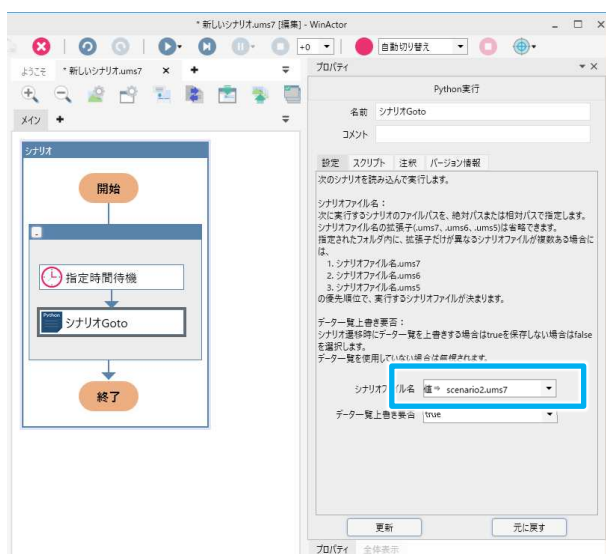
#### Steps

#### 1. 1 番目に実行するシナリオを作成します。

- ① シナリオの末尾に、シナリオ GoTo ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。

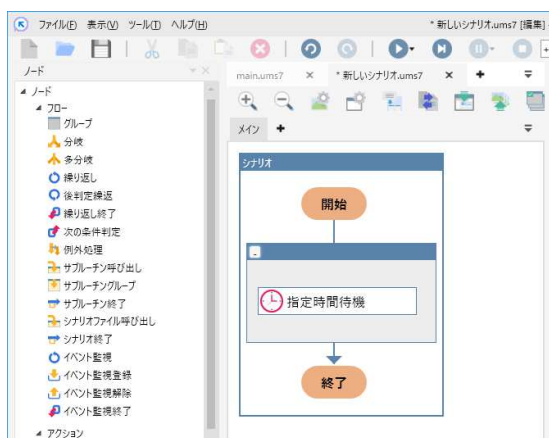


- ② シナリオ GoTo の「プロパティ」画面で、「シナリオファイル名」の値に、次に実行するシナリオファイル名「scenario2.ums7」を設定します。



- ③ 作成したシナリオを「main.ums7」という名前で保存します。

2. 2 番目に実行するシナリオを作成して、「main.ums7」で指定した「scenario2.ums7」という名前で保存します。



3. Step 1～2 で作成した 2 つのシナリオファイルを、ZIP 形式のファイルとして圧縮します。




## 2.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録して実行しましょう。

### Steps

1. ZIP 形式でまとめたシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。

 ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.4 ファイルをアップロードする』を参照してください。



検索条件

ファイルID 部分一致 英数字記号32文字以下

ファイル名 AND/NOT検索 512文字以下

所属

検索結果一覧

選択削除 アップロード

ページあたりの件数 10 1件中1 - 1件

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録者	更新日時	ファイルタグ	ダウンロード
待機BOX2連続GOTO.zip		3.44 KB	admin	2025/06/23 18:50:42		

ページあたりの件数 10 1件中1 - 1件

選択削除 アップロード

## 2. 「待機ボックス 2 連続 GOTO.zip」をシナリオとして登録します。

**>>** シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。


- ① シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。



シナリオファイルの選択画面では、以下のように、ファイル名に「ums」の部分一致検索条件が設定されているため、標準では検索結果一覧に拡張子が「zip」のファイルが表示されません。この条件を削除して検索し、ZIP ファイルを選択してください。



- ② 必要に応じて、その他の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。



WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

3. シナリオの「スケジュール登録」エリアで、「WinActor」で実行する WinActor を指定し、「実行指定」で実行するタイミングを設定して、[OK] ボタンでシナリオをスケジュール登録します。



スケジュール登録は画面左のメニューから実施する方法と、シナリオ画面から実施する方法の2種類があります。どちらの方法でもスケジュール登録を行うことができますが、画面左のメニューから選択する場合はスケジュール登録画面を開いてからシナリオを選択するのに対し、シナリオ画面から表示する場合は対象となるシナリオの詳細を確認してからスケジュール登録を行うという違いがあります。

- >> スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

「実行指定」で指定した日時になると、登録したシナリオが実行されます。

4. 「タスク」画面で、タスクの状態を確認します。

タスク名	所属	状態	生成日時	実行予定日時	開始日時	終了日時	実行時間(秒)	更新日時
待機BOX2連続GOTO		待機中	2025/06/23 18:54:20	2025/06/23 18:54:20			0	2025/06/23 18:54:20

### 3. 機能タグを利用して実行する WinActor を選択するには

WinActor Manager には、機能タグが設定されている WinActor でのみ、同じ機能タグが設定されているシナリオを実行する仕組みがあります。

機能タグによって、複数の WinActor を業務ごとにグループ化して、タスクを割り当てる事が可能となります。



機能タグには、任意の文字列を設定できます。ただし、機能させるには、WinActor とシナリオの機能タグは、完全一致している必要があります。



機能タグの詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『1.6.4 機能タグ』を参照してください。

ここでは、WinActor Manager で管理している WinActor およびシナリオの情報を更新し、「データ登録」という機能タグを設定して、スケジュールを登録してみましょう。

#### Steps

1. WinActor に機能タグを設定します。
  - ① WinActor Manager で、「WinActor」画面を表示します。
  - ② 「検索結果一覧」エリアで機能タグを設定したい WinActor を選択し、「情報更新」エリアを表示します。
  - ③ 「機能タグ」に機能タグを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

情報更新 ①

WinActorID Hto3UUhVUa5zeHTToOfyQ

WinActor名 WinActor01@WinActor01 512文字以下

WinActorバージョン WinActor 7.6.0 s FL フル機能版

ライセンス有効期限 -

ライセンスグループ winactor

ユーザ名 WinActor01

PC名 WinActor01

OS名 Microsoft Windows 10.0.14393

画面サイズ 2560x1359

状態 起動

新規タスクの割当可否 新規タスクの割当可能

実行予定タスク なし

実行中タスク

所属 共有

機能タグ データ登録 64文字以下

同じ機能タグを持つシナリオを実行したい場合は設定してください

管理実行モード 管理実行モード

操作ログ送信モード 管理サーバに操作ログを送信する

インストーラ種別 標準ユーザ版

保守契約ID

自動停止・再起動 ☐ WinActorを自動的に停止もしくは再起動する

WMCユーザへの設定 なし

メモ

最終停止時刻

次回停止予定時刻

最終再起動時刻

次回再起動予定時刻

登録日時 2025/06/23 11:02:40

更新日時 2025/06/23 19:06:43

OK

WinActor に機能タグが設定されます。



WinActor の管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『5. WinActor を管理する』を参照してください。



## 2. シナリオに機能タグを設定します。

- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアで機能タグを設定したいシナリオを選択し、「情報更新」エリアを表示します。
- ③ 「機能タグ」に機能タグを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

情報更新

シナリオID Sq5m3uMa6zMKGmw9pJjeSg

シナリオ名 メモ帳への文字入力(追記型) 64文字以下

シナリオファイル メモ帳への文字入力(追記型).ums7

所属 共有

入力パラメータ +

出力パラメータ +

詳細設定を開じる

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄) 元のシナリオのパスワードは引き継がれません

タイムアウト 1800 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日) (省略時は1800秒)

シナリオ実行時間がこの値を超えると、シナリオは異常終了します

シンプルモード ☐ このシナリオをシンプルモードで使用する  
シンプルモードの実行方法選択画面を確認

オプションセット 選択

メモ 200文字以下

機能タグ データ登録 64文字以下

同じ機能タグを持つWinActorを使ってシナリオを実行したい場合は設定してください

シナリオタグ 64文字以下

修正内容 200文字以下

登録日時 2025/06/23 19:10:37

更新日時 2025/06/23 19:10:37

OK

シナリオに機能タグが設定されます。

>> シナリオの管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7. シナリオを管理する』を参照してください。

### 3. 機能タグを設定したシナリオを選択し、スケジュールを登録します。

- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアで機能タグを設定したシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「予約する」を選択します。

詳細情報

シナリオID: SqSm3uMa6zMKGmw9pJjeSg  
シナリオ名: メモ帳への文字入力(追記型)  
シナリオファイル: [メモ帳への文字入力\(追記型\).ums7](#)  
所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	メモ
出力パラメータ	機能タグ データ登録
パスワード: パスワード設定なし	シナリオタグ
タイムアウト: 1800	修正内容
シンプルモード: 無効	登録者: <a href="#">admin</a>
オプションセット	登録日時: 2025/06/23 19:10:37
	更新者: <a href="#">admin</a>
	更新日時: 2025/06/23 19:11:20

実行に関する情報

実行回数: 0	最終実行時刻
成功回数: 0	最終実行WinActor
失敗回数: 0	最終実行ステータス
中断回数: 0	次回実行予定時刻
平均実行時間(秒): 0	次回実行予定WinActor

スケジュール登録

予約する

実行履歴

実行履歴なし

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

- 4 必要に応じて「実行指定」やその他の設定をして、[OK] ボタンをクリックします。

スケジュールが登録されます。

タスクの実行タイミングになると、シナリオの機能タグと一致した WinActor でシナリオが実行されます。



複数の WinActor に同じ機能タグが設定されている場合、そのうち 1 台の WinActor でシナリオが実行されたあとに、タスクは終了します。完全一致する機能タグがない場合、タスクは待機中となります。



シナリオの登録の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。



「スケジュール登録」エリアの「シナリオを実行する WinActor を指定する」ボタンをクリックすると、機能タグが検索条件に指定された状態で、WinActor の選択画面が表示されます。

WinActor名	状態	所属	機能タグ	更新日時	選択
WinActor01@WinActor01	起動		データ登録	2025/06/23 19:11:45	選択

## 4. シナリオと変数の値をやりとりするには

WinActor Manager の指示で WinActor で動作させるシナリオに、WinActor Manager から変数の値を渡す方法と、シナリオの変数の値を WinActor Manager で受け取る方法について説明します。

ここでは、例として、入力パラメータの変数として受け取った 2 つの文字列を連結し、出力パラメータの変数の値として出力します。

### 4.1 シナリオを準備する

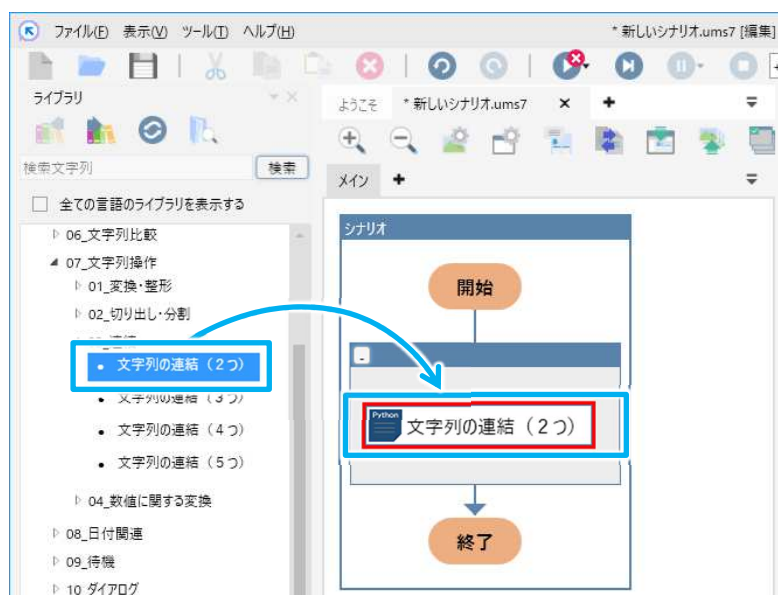
WinActor で、2 つの文字列を連結してダイアログボックスに表示するシナリオを作成しましょう。

ここでは、WinActor でシナリオを作成して動作を確認したあとに、WinActor Manager からの指示でシナリオを実行するための設定をします。

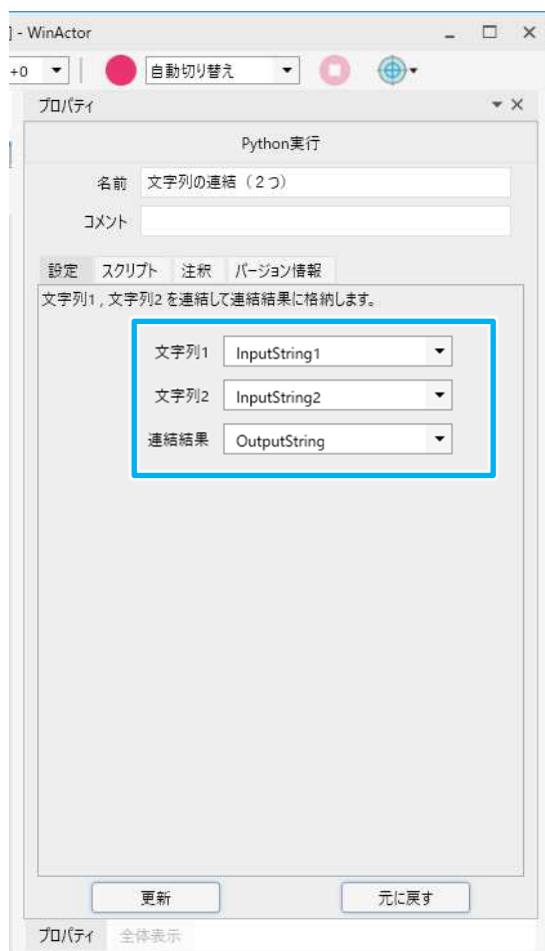
**>>** WinActor の操作方法については、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。

#### Steps

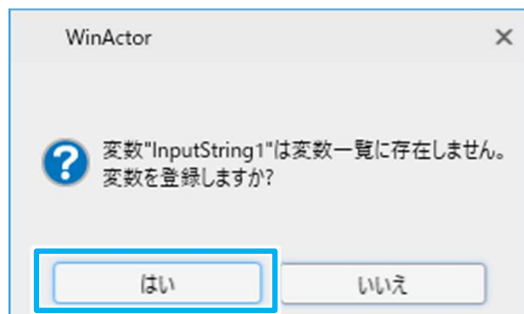
1. WinActor で、文字列を連結するためのライブラリを設定します。
  - ① 「ライブラリ」タブから、「文字列の連結（2つ）」ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。



- ② 「文字列の連結（2つ）」の「プロパティ」画面で、変数として使用する「文字列1」「文字列2」「連結結果」を設定します。

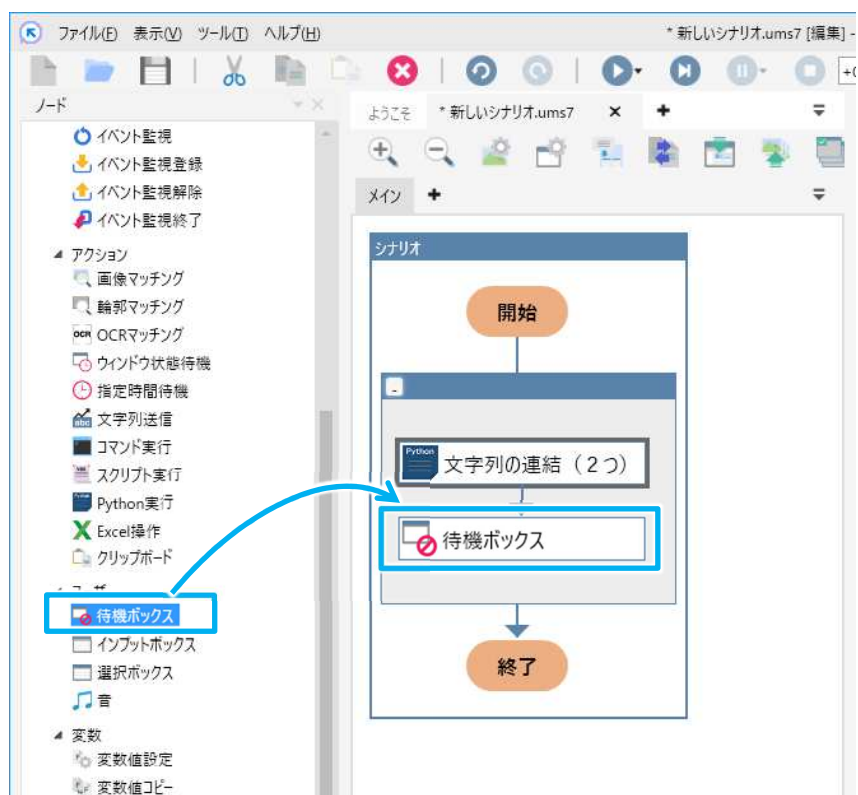


- ドロップダウンリストからアスタリスク（\*）を選択すると、変数を入力できるようになります。
- 「プロパティ・スクリプト実行」画面で [OK] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示され、変数を新しく登録できます。

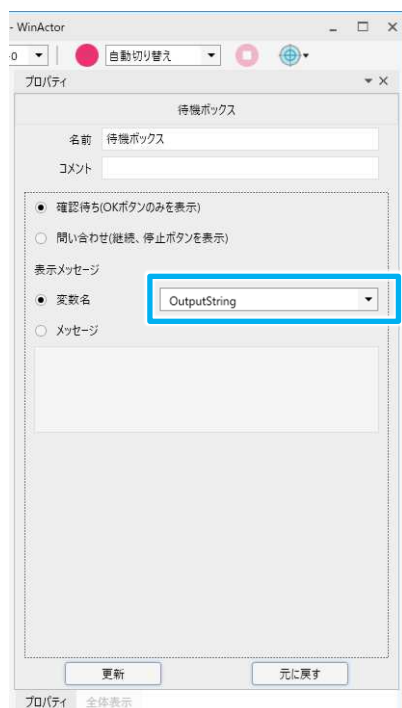


2. 連結した文字列を表示するダイアログボックスを設定します。

- 1 「ノード」タブから、「待機ボックス」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- 2 「待機ボックス」ノードの「プロパティ」画面で、「変数名」に「OutputString」を設定します。

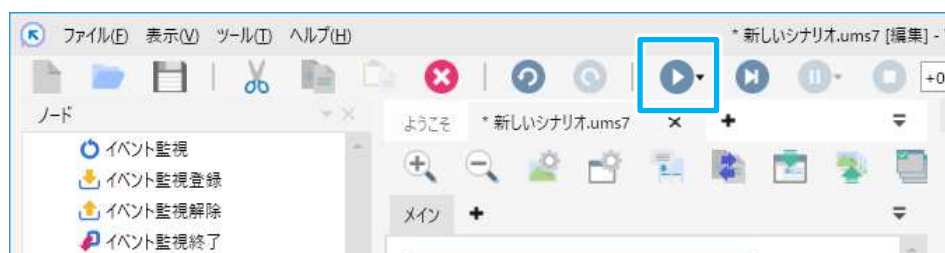


3. 「変数一覧」画面で、変数「InputString1」と「InputString2」の初期値を入力します。



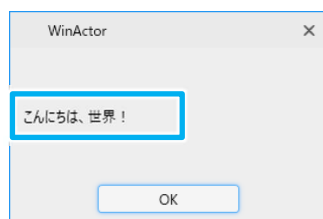
ここで入力した初期値は、WinActor でシナリオを実行したときに表示されます。WinActor Manager からの指示でシナリオを実行する場合の値は、スケジュールを登録する際に入力します。

4. [実行] ボタンをクリックして、シナリオの動作を確認してみましょう。



ダイアログに 2 つの変数の初期値が連結して表示されたら、シナリオは正しく作成されています。

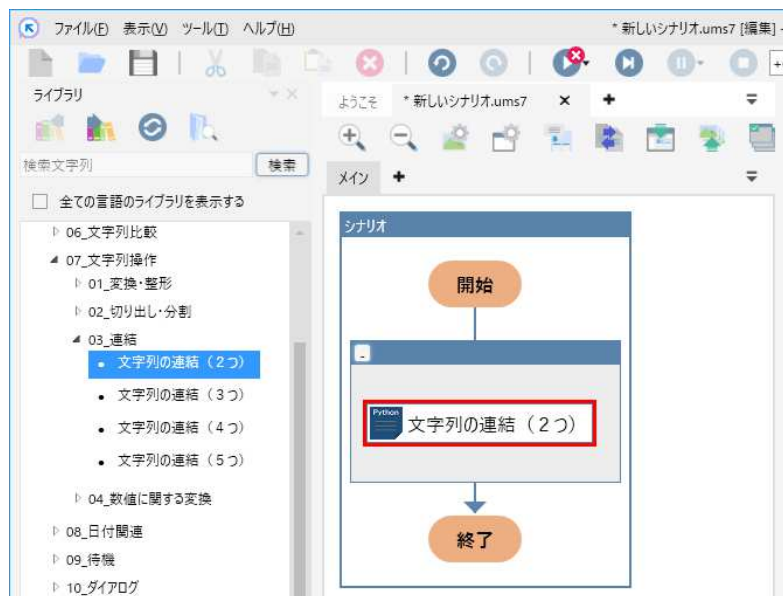
5. [OK] ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。



6. 最後に、WinActor Manager からの指示でシナリオを動かすために、シナリオを修正して「待機ボックス」ノードを削除します。



この操作は、WinActor Manager からの指示でシナリオを実行する場合は、ダイアログの [OK] ボタンをクリックできずに、入力待ちの状態になるためです。



7. 「文字列連結.ums7」というファイル名で、シナリオを保存します。



## 4.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録して実行しましょう。

### Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。

**>>** ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.4 ファイルをアップロードする』を参照してください。



## 2. 「文字列連結.ums7」をシナリオとして登録します。

**>>** シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- ① シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。



- ② 「入力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputString1」を設定し、「OK」ボタンをクリックします。  
同様に、「InputString2」も設定します。



入力パラメータの名前には、シナリオを作成したときに変数名として指定した文字列を使用してください。



入力パラメータ ①

名前  255文字以下

シナリオファイル内で使用している変数名を設定してください

型 ☒ 文字列 ☐ ファイル ☐ パスワード

必須 ☒ 必須 ☐ 省略可

省略値  10000文字以下

説明  200文字以下

OK キャンセル

新規作成 ②

シナリオ名  64文字以下

シナリオファイル  参照 シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString1	文字列	必須		
	InputString2	文字列	必須		

+

出力パラメータ	名前	型	説明
	OutputString	文字列	

+

詳細設定を開く

OK

- ③ 「出力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの出力用の変数「OutputString」を設定します。



出力パラメータの名前には、シナリオを作成したときに変数名として指定した文字列を使用してください。

新規作成

シナリオ名: 文字列連結 64文字以下

シナリオファイル: 文字列連結.ums7 参照 シナリオファイルの一つ指定

所属: 共有

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString1	文字列	必須		
	InputString2	文字列	必須		

+

出力パラメータ	名前	型	説明
	OutputString	文字列	

+

詳細設定を開く

OK

- ④ 必要に応じて、その他の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。

新規作成

シナリオ名: 文字列連結 64文字以下

シナリオファイル: 文字列連結.ums7 参照 シナリオファイルの一つ指定

所属: 共有

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString1	文字列	必須		
	InputString2	文字列	必須		

+

出力パラメータ	名前	型	説明
	OutputString	文字列	

+

詳細設定を開く

OK

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

### 3. シナリオをスケジュール登録します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「予約する」を選択します。

詳細情報 ①

シナリオID 1PBhkpCvU6lqclcfK7Cmg

シナリオ名 文字列連結

シナリオファイル [文字列連結.ums? ↗](#)

所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString1	文字列	必須		
	InputString2	文字列	必須		

出力パラメータ	名前	型	説明
	OutputString	文字列	

パスワード

パスワード設定なし

メモ

タイムアウト

1800

機能タグ

シミュレーションモード

無効

シナリオタグ

オプションセット

修正内容

登録者 [admin ↗](#)

登録日時 2025/06/23 19:49:57

更新者 [admin ↗](#)

更新日時 2025/06/23 19:49:57

実行に関する情報

実行回数	0	最終実行時刻	
成功回数	0	最終実行WinActor	
失敗回数	0	最終実行ステータス	
中断回数	0	次回実行予定時刻	
平均実行時間(秒)	0	次回実行予定WinActor	

スケジュール登録

予約する

一括削除

実行履歴 ②

実行履歴なし

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

- ④ 「シナリオを実行する WinActor を指定する」 ボタンをクリックし、シナリオを実行する WinActor を選択します。

- ⑤ 「InputString1」と「InputString2」の「値」に、それぞれ入力パラメータの値を入力します。

- ⑥ 必要に応じて「実行指定」やその他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString1	文字列	必須		WinActor Managerで、 10000文字以下	
InputString2	文字列	必須		シナリオを実行しました。 10000文字以下	

**実行予定WinActor**

実行予定WinActor
WinActor01@WinActor01

シナリオを実行するWinActorを指定する [削除]

**実行指定**

種別: 即時

日時を指定せずにスケジュールを登録します。登録したスケジュールから1回だけシナリオを実行します

詳細設定を開く [OK]

スケジュールが登録されます。

「実行指定」で指定した日時になると、登録したシナリオが実行されます。

## 4.3 結果を確認する

シナリオの実行結果を確認してみましょう。

### Steps

#### 1. タスクの状態を確認します。



画面は自動的に更新されません。最新の状況を反映するには、[検索] ボタンをクリックするか、[リロード] ボタンをクリックしてください。

#### ① 「タスク」画面で、タスクの状態が「正常終了」であることを確認します。

検索結果一覧								
タスク名	所 属	状態	生成日時	実行予定日時	開始日時	終了日時	実行時間 (秒)	更新日時
文字列連結		✓ 正常終了	2025/06/23 19:52:34	2025/06/23 19:52:34	2025/06/23 19:52:54	2025/06/23 19:53:02	7	2025/06/23 19:53:02
待機BOX2連続GOTO		✓ 正常終了	2025/06/23 18:55:32	2025/06/23 18:55:32	2025/06/23 18:55:45	2025/06/23 18:56:10	24	2025/06/23 18:56:10



- ② タスクの「詳細情報」エリアで、「出力パラメータ」の「値」に入力パラメータの「値」が連結されていることを確認します。

詳細情報

タスクID VrAdYKaGWDiebitZ063SzQ

タスク名 文字列連結

所属

状態 正常終了

ファイルに関する情報

シナリオファイル名 文字列連結.sum7 (環境ID: 1)

シナリオファイル更新者 admin

シナリオファイル更新日時 2025/06/23 19:46:39

シナリオに関する情報

シナリオ名 文字列連結

シナリオ更新者 admin

シナリオ更新日時 2025/06/23 19:49:57

スケジュールに関する情報

スケジュール名 文字列連結

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

実行指定 種別

即時

スケジュール更新者 admin

スケジュール更新日時 2025/06/23 19:52:34

タスクに関する情報

入力パラメータ

名前	型	値	説明
InputString1	文字列	WinActor Managerで、	
InputString2	文字列	シナリオを実行しました。	

データ一覧ファイル 生成日時 2025/06/23 19:52:34

実行予定WinActor WinActor01@WinActor01 実行予定日時 2025/06/23 19:52:34

実行に関する情報

出力パラメータ

名前	型	値
OutputString	文字列	WinActor Managerで、シナリオを実行しました。

アーカイブファイル リトライ実行済み回数 0

開始日時 2025/06/23 19:52:54 実行に使用したWinActor WinActor01@WinActor01



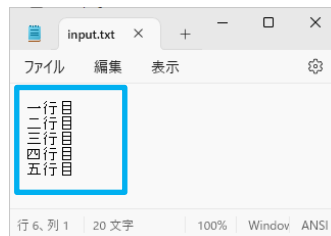
WinActor Manager の指示で WinActor でシナリオを実行する場合、WinActor で連結された文字列は、出力用の変数「OutputString」によって、WinActor から WinActor Manager に渡されます。

## 5. シナリオと入出力ファイルをやりとりするには

WinActor Manager と WinActor で、入出力ファイルをやりとりする方法について説明します。

ここでは、以下のようにテキストファイルに記述されている情報を別のテキストファイルへ転記するシナリオを、WinActor Manager からの指示で WinActor に実行させます。出力結果のテキストファイルは、出力パラメータとして指定することで WinActor Manager に渡され、保存されます。

図 4.3-1 入力ファイル（テキスト）



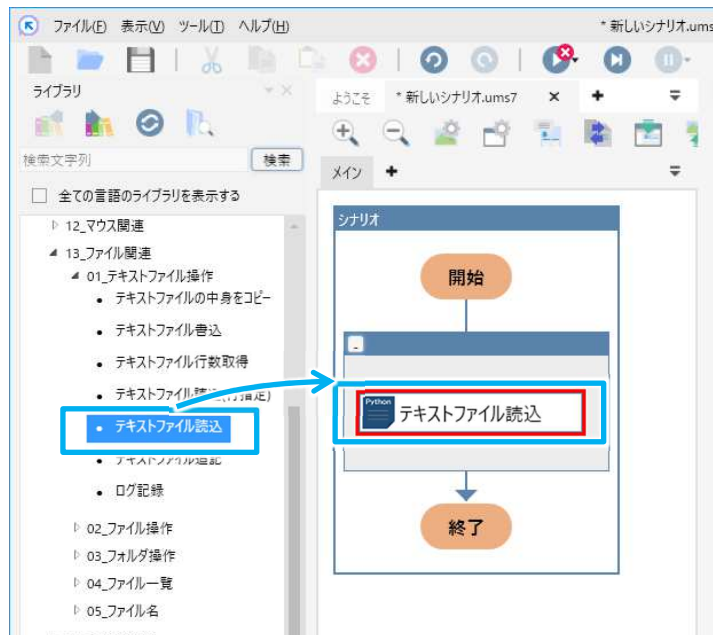
あらかじめ、メモ帳などで入力ファイルを作成しておくようにしてください。

### 5.1 シナリオを準備する

WinActor で、入力ファイルを読み込み、別のテキストファイルに出力するシナリオを作成しましょう。

#### Steps

1. 入力ファイルを読み込みます。
  - ① 「ライブラリ」タブから、「テキストファイル読込」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- ② 「テキストファイル読込」の「プロパティ」画面で、「読み込みファイルパス」に「InputFile」を指定します。  
 また、「読み込みデータ」に、読み込んだ情報を格納するための変数「OutputParam」を設定します。

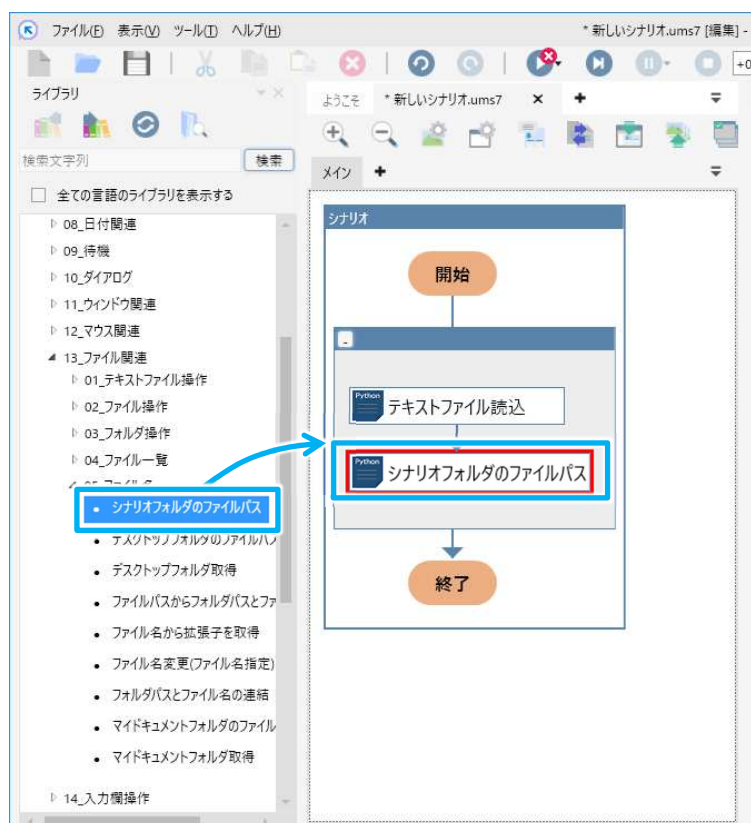


## 2. 「シナリオフォルダのファイルパス」ライブラリを追加し、出力ファイル名を設定します。

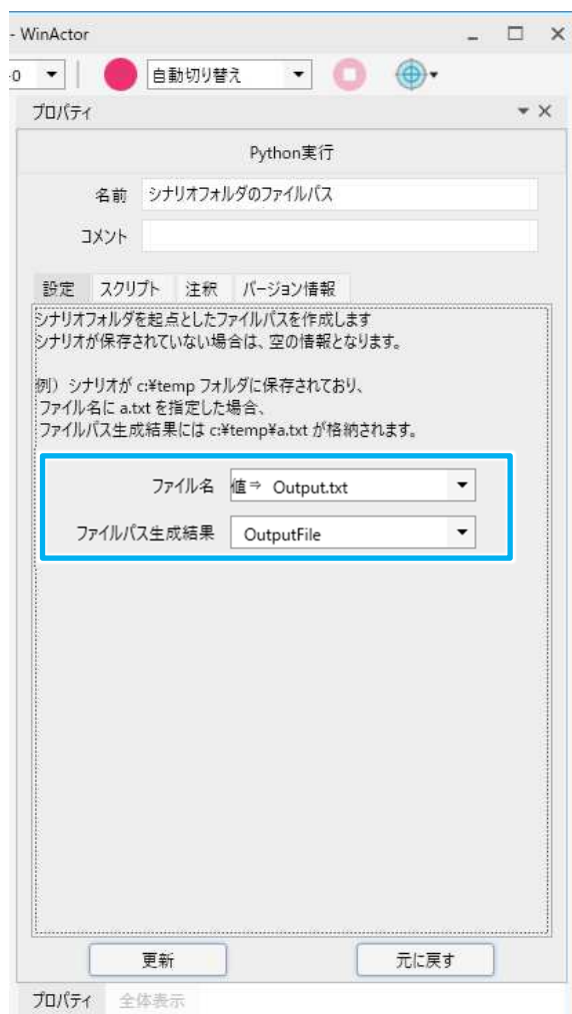


出力ファイルは、シナリオを実行したあとに、WinActor Manager の「ファイル」に保存されます。そのため、シナリオでファイル名を指定して出力ファイルを作成するための処理を追加する必要があります。

- 1 「ライブラリ」タブから、「シナリオフォルダのファイルパス」ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。

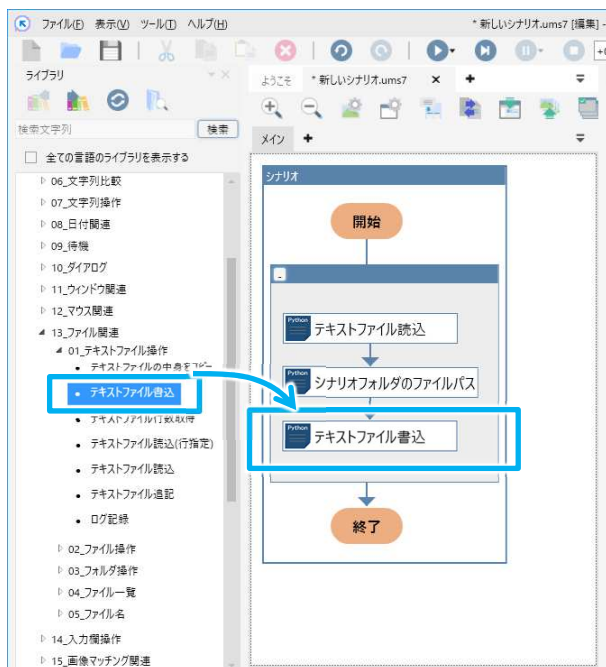


- 2 「シナリオフォルダのファイルパス」の「プロパティ」画面で、「ファイル名」に、WinActor Manager へ出力するためのファイル名を設定します。また、「ファイルパス生成結果」に、出力ファイルの変数「OutputFile」を設定します。

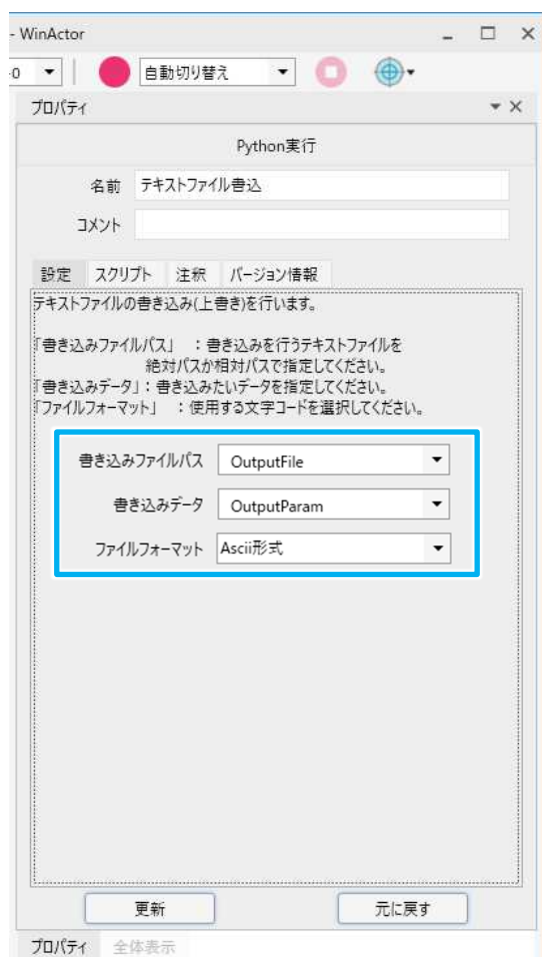


### 3. 出力ファイルへ書き込みます。

- ① 「ライブラリ」タブから、「テキストファイル書込」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- ② 「テキストファイル読込」の「プロパティ」画面で、「書き込みファイルパス」に出力ファイルパスを格納している「OutputFile」を設定します。また、「書き込みデータ」には入力ファイルから読み込んだ情報を格納している「OutputParam」を設定します。



実際にシナリオを作成する際には、出力ファイルが存在しない場合に限りファイルを作成するなどのエラー処理も検討してください。

4. 「ファイル型パラメータ.ums7」というファイル名で、シナリオを保存します。

## 5.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録して実行しましょう。

### Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。  
また、入力ファイルとなるテキストファイルもアップロードします。

➡ ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.4 ファイルをアップロードする』を参照してください。



2. アップロードしたシナリオファイルをシナリオとして登録します。

➡ シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

1. シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。



2. 「入力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputFile」を設定します。「型」には「ファイル」を設定します。





入力パラメータの名前には、シナリオを作成したときに変数名として指定した文字列を使用してください。

新規作成

シナリオ名 ファイル型パラメータ 64文字以下

シナリオファイル ファイル型パラメータ.ums 参照 シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputFile	ファイル	必須		

出力パラメータ

詳細設定を開く

OK

- ③ 「出力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの出力用の変数「OutputFile」を設定します。「型」には「ファイル」を設定します。続けて、どのような情報を読み込んだかを保存するための変数「OutputParam」の設定を追加します。「型」には「文字列」を設定します。



出力パラメータの名前には、シナリオを作成したときに変数名として指定した文字列を使用してください。



本サンプルは文字列型変数の受け渡しのために OutputParam を設定しましたが、ファイルの受け渡しだけが目的であれば OutputParam の設定は必ずしも必要ではありません。

新規作成

シナリオ名 ファイル型パラメータ 64文字以下

シナリオファイル ファイル型パラメータ.ums 参照 シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

出力パラメータ	名前	型	説明
	OutputFile	ファイル	
	OutputParam	文字列	

詳細設定を開く

OK

- ④ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成

シナリオ名: ファイル型パラメータ (64文字以下)

シナリオファイル: ファイル型パラメータ.ums (参照) シナリオファイルの一つ指定

所属: 共有

入力パラメータ

名前	型	必須	省略値	説明
InputFile	ファイル	必須		

出力パラメータ

名前	型	説明
OutputFile	ファイル	
OutputParam	文字列	

詳細設定を開く

OK

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

### 3. シナリオをスケジュール登録します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「予約する」を選択します。

詳細情報

シナリオID 4KzdWpKtWMYf1qZHsky8tg

シナリオ名 ファイル型パラメータ

シナリオファイル [ファイル型パラメータ.ums7](#)

所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	<table><tr><th>名前</th><th>型</th><th>必須</th><th>省略値</th><th>説明</th></tr><tr><td>InputFile</td><td>ファイル</td><td>必須</td><td></td><td></td></tr></table>	名前	型	必須	省略値	説明	InputFile	ファイル	必須		
名前	型	必須	省略値	説明							
InputFile	ファイル	必須									
出力パラメータ	<table><tr><th>名前</th><th>型</th><th>説明</th></tr><tr><td>OutputFile</td><td>ファイル</td><td></td></tr><tr><td>OutputParam</td><td>文字列</td><td></td></tr></table>	名前	型	説明	OutputFile	ファイル		OutputParam	文字列		
名前	型	説明									
OutputFile	ファイル										
OutputParam	文字列										
パスワード	パスワード設定なし	メモ									
タイムアウト	1800	機能タグ									
シミュレーションモード	無効	シナリオタグ									
オプションセット		修正内容									
		登録者 <a href="#">admin</a>									
		登録日時 2025/06/23 20:27:06									
		更新者 <a href="#">admin</a>									
		更新日時 2025/06/23 20:27:06									

実行に関する情報

実行回数 1	最終実行時刻 2025/06/23 20:27:44
成功回数 1	最終実行WinActor <a href="#">WinActor01@WinActor01</a>
失敗回数 0	最終実行ステータス 正常終了
中断回数 0	次回実行予定時刻
平均実行時間(秒) 3	次回実行予定WinActor

スケジュール登録

予約する

実行履歴

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

44

- ④ 「シナリオを実行する WinActor を指定する」 ボタンをクリックし、シナリオを実行する WinActor を選択します。

- ⑤ 「入力パラメータ」の「InputFile」の「参照」ボタンをクリックし、入力ファイルを選択して設定します。

- ⑥ 必要に応じて「実行指定」やその他の設定をして、[OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名: ファイル型パラメータ (64文字以下)

シナリオ情報: ファイル型パラメータ

所属: 共有

入力パラメータ

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputFile	ファイル	必須		input.txt	参照

実行予定WinActor: 実行予定WinActor  
WinActor01@WinActor01 (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種別  
即時

日時を指定せずにスケジュールを登録します。登録したスケジュールから1回だけシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

スケジュールが登録されます。

「実行指定」で指定した日時になると、登録したシナリオが実行されます。

## 5.3 結果を確認する

シナリオの実行結果を確認してみましょう。

### Steps

#### 1. タスクの状態を確認します。



画面は自動的に更新されません。最新の状況を反映するには、[検索] ボタンをクリックするか、[リロード] ボタンをクリックしてください。

#### ① 「タスク」画面で、タスクの状態が「正常終了」であることを確認します。

検索結果一覧								
ページあたりの件数 10 4 件中 1 - 4 件								
タスク名	所 属	状 態	生成日時	実行予定日時	開始日時	終了日時	実行時間 (秒)	更新日時
ファイル型/パラメータ		正常終了	2025/06/23 20:27:21	2025/06/23 20:27:21	2025/06/23 20:27:44	2025/06/23 20:27:47	3	2025/06/23 20:27:47
文字列連結		正常終了	2025/06/23 19:52:34	2025/06/23 19:52:34	2025/06/23 19:52:54	2025/06/23 19:53:02	7	2025/06/23 19:53:02
待機BOX2連続GOTO		正常終了	2025/06/23 18:55:32	2025/06/23 18:55:32	2025/06/23 18:55:45	2025/06/23 18:56:10	24	2025/06/23 18:56:10
待機BOX2連続GOTO		中断	2025/06/23 18:54:20	2025/06/23 18:54:20		2025/06/23 18:55:32	0	2025/06/23 18:55:32
ページあたりの件数 10 4 件中 1 - 4 件								

- ② タスクの「詳細情報」エリアで、「入力パラメータ」の値をクリックすると、「ファイル」画面で入力ファイルを確認できます。
- また、「出力パラメータ」の値をクリックすると、「ファイル」画面で出力ファイルを確認できます。

詳細情報

タスクID XNhEprT1y9EnbvOYa1LFg

タスク名 ファイル型パラメータ

所属

状態 正常終了

ファイルに関する情報

シナリオファイル名 [ファイル型パラメータ.ums7 \(履歴ID: 1\)](#)

シナリオファイル更新者 [admin](#)

シナリオファイル更新日時 2025/06/23 20:26:34

シナリオに関する情報

シナリオ名 [ファイル型パラメータ](#)

シナリオ更新者 [admin](#)

シナリオ更新日時 2025/06/23 20:27:06

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [ファイル型パラメータ](#)

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

実行指定 

種別

即時

スケジュール更新者 [admin](#)

スケジュール更新日時 2025/06/23 20:27:21

タスクに関する情報

入力パラメータ

名前	型	値	説明
InputFile	ファイル	<a href="#">aPGkESOsNvRbFE086VVP4w (履歴ID: 1)</a>	

データ一覧ファイル 

生成日時 2025/06/23 20:27:21

実行予定WinActor [WinActor01@WinActor01](#)

実行予定日時 2025/06/23 20:27:21

実行に関する情報

出力パラメータ

名前	型	値
OutputFile	ファイル	<a href="#">n0e5aTcl3xr2e2sSgbT1GQ</a>
OutputParam	文字列	一行目 二行目 三行目 四行目 五行目

出力内容を確認する場合は、「ファイル」画面から、出力ファイルをダウンロードしてください。

48

## 6. 日時以外のタイミングでシナリオを実行するには

WinActor Manager ではスケジュール登録時に「実行指定」で実行するタイミングを指定します。「実行指定」では即時、もしくは指定した日時でシナリオを実行することが出来ますが、日時以外のタイミングでシナリオを実行したい場合があります。

例えば任意のタイミングで作成されるデータがあり、そのデータの登録をきっかけとしてシナリオを実行したい場合などです。WinActor Manager を使うとこのようなケースでもシナリオを実行することが出来ます。

ここではデータを登録したタイミングでシナリオを実行する方法について説明します。



スケジュール登録には2種類あり、即時、もしくは指定した日時でシナリオを実行する場合は「予約する」を選択します。本章で説明するデータを登録したタイミングでシナリオを実行する場合は「連続実行を予約する」を選択します。

---

### 6.1 シナリオを準備する

ここでは、『4.1 シナリオを準備する』で作成した、2つの文字列を受け取り、連結した文字列を出力するシナリオを使って説明します。シナリオの作成方法は『4.1 シナリオを準備する』を参照してください。




## 6.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

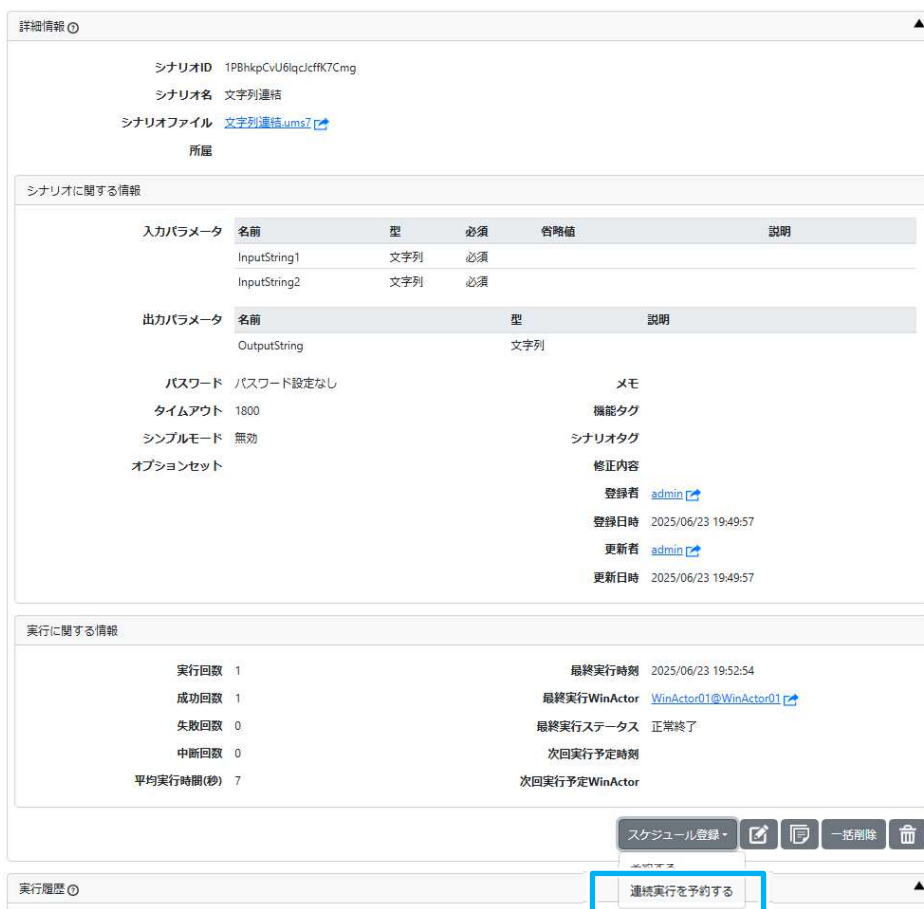
『4.2 シナリオを登録する』の Step2 までの手順を参考にシナリオ登録まで実施してください。ここではスケジュール登録方法から説明します。

### Steps

#### 1. シナリオをスケジュール登録します。

 スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「連続実行を予約する」を選択します。



詳細情報

シナリオID 1PBhkpCvU6lqclcfK7Cmg

シナリオ名 文字列連結

シナリオファイル [文字列連結.ums7](#)

所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString1	文字列	必須		
	InputString2	文字列	必須		

出力パラメータ	名前	型	説明
	OutputString	文字列	

パスワード パスワード設定なし

タイムアウト 1800

シナリオモード 無効

オプションセット

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

登録者 [admin](#)

登録日時 2025/06/23 19:49:57

更新者 [admin](#)

更新日時 2025/06/23 19:49:57

実行に関する情報

実行回数 1	最終実行時刻 2025/06/23 19:52:54
成功回数 1	最終実行WinActor <a href="#">WinActor01@WinActor01</a>
失敗回数 0	最終実行ステータス 正常終了
中断回数 0	次回実行予定時刻
平均実行時間(秒) 7	次回実行予定WinActor

スケジュール登録

連続実行を予約する

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

- ④ シナリオ作成時に入力パラメータとして指定した「InputString1」と「InputString2」がどのように値を受け取るかを設定します。[連携パラメータ]の[+]ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名: 文字列連結 (64文字以下)

シナリオ情報: 文字列連結

所属: 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString1	文字列	必須		10000文字以下	
InputString2	文字列	必須		10000文字以下	

連携パラメータ: +

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種別 (データ駆動)

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- ⑤ 「名前」にシナリオの入力パラメータ「InputString1」を設定します。プルダウンから選ぶことも可能です。

連携パラメータ

型: リクエスト文字列

名前: InputString1 (255文字以下)

InputString2

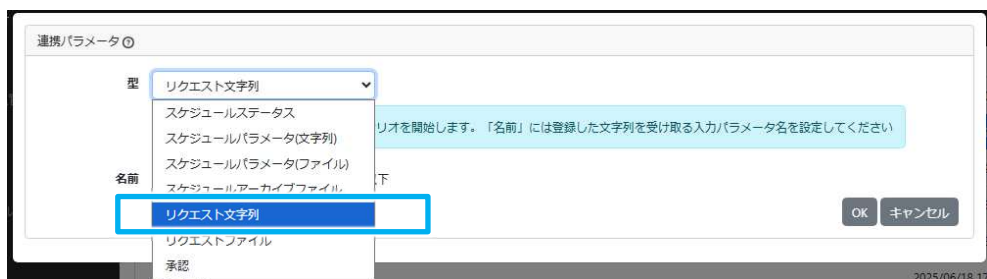
OK キャンセル

- ⑥ 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここでは手動でデータ登録を行い、そのタイミングでシナリオを実行できるようにするため「リクエスト型」として設定します。「InputString1」が文字列型のパラメータのため、「リクエスト文字列」を選択します。



入力パラメータの型（文字列型、ファイル型）と、連携パラメータの型（○文字列、○○ファイル）は合わせる必要があります。

入力パラメータの型がファイル型で、ファイルを登録したタイミングでシナリオを実行する場合は「リクエストファイル」を選択してください。



- ⑦ [OK] ボタンをクリックします。「InputString2」についても同様に「リクエスト文字列」で設定します。



- ⑧ 「連携パラメータ」が登録されました。「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名

文字列連結

64文字以下

シナリオ情報

文字列連結

所屬

共有

入力パラメータ

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString1	文字列	必須			10000文字以下
InputString2	文字列	必須			10000文字以下

連携パラメータ

名前	型	情報
InputString1	リクエスト文字列	<div>↑ ↓ ↗ ✕</div>
InputString2	リクエスト文字列	<div>↑ ↓ ↗ ✕</div>

+

実行予定WinActor

指定なし

シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定

種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

スケジュールが登録されます。



「連続実行を予約する」を選択した場合は「実行指定」のプルダウンから設定できるのは「データ駆動」のみとなります。

## 6.3 データを登録する

データを登録してスケジュールを実行してみましょう。

### Steps

#### 1. フロー画面を表示します。

- 1 WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。

検索条件

ステージID 部分一致 英数字記号32文字以下

スケジュール名 部分一致 64文字以下

所属

検索結果一覧

新規ステージ登録

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結		2025/06/23 20:35:21

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

新規ステージ登録

- 2 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択し、「ステージ」エリアで要素をクリックします。

検索結果一覧

新規ステージ登録

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結		2025/06/23 20:35:21

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

新規ステージ登録

履歴

履歴なし

ステージ

文字列連結

「詳細情報」エリアが表示されます。

## 2. データを登録します。

- 1 [入力パラメータ] に登録したパラメータ名と同じ並びにある [設定] ボタンをクリックします。

- 2 [リクエストパラメータ] エリアの [値] 欄に WinActor に渡したい文字列を設定して [OK] ボタンをクリックします。

- ③ 設定した値が「連携パラメータ」欄に表示されることを確認します。

詳細情報 〇 ▲

ステージID [ngfsjLP1W0bRCdZmRhuiZw](#)

所屋

シナリオに関する情報

シナリオ名 [文字列連結](#)

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [文字列連結](#)

分割元スケジュールID

実行指定 **種別**

データ駆動

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

有効/無効 有効

メモ

タスクに関する情報

タスク名

状態 待機中

入力パラメータ

名前	型	値	説明
InputString1	リクエスト文字列		<a href="#">設定</a>
InputString2	リクエスト文字列		<a href="#">設定</a>

連携パラメータ

名前	型	情報	説明
InputString1	リクエスト文字列	WinActor Managerで、	<a href="#">更新</a> <a href="#">削除</a> <a href="#">一覧</a>

シナリオを実行するための入力パラメータ、連携パラメータがすべて揃うと編集できなくなります

データ一覧ファイル

データ分割数 1

実行予定WinActor 指定なし

登録日時 2025/06/23 20:35:21

- ④ 「InputString2」も同様に設定します。

リクエストパラメータ 〇

名前 InputString2

型 文字列

値  10000文字以下

[OK](#) [キャンセル](#)

- ⑤ すべてのリクエストパラメータの登録が終わると実行が開始されます。「検索結果一覧」エリアまで画面をスクロールし、対象のスケジュールをクリックします。

検索結果一覧

新規ステージ登録

ページあたりの件数 10 1件中1-1件

スケジュール名	更新日時
文字列連結	2025/06/23 20:35:21

ページあたりの件数 10 1件中1-1件

新規ステージ登録

- ⑥ 「履歴」エリアに新しい行が表示されているのでクリックします。

検索結果一覧

新規ステージ登録

ページあたりの件数 10 1件中1-1件

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結		2025/06/23 20:35:21

ページあたりの件数 10 1件中1-1件

新規ステージ登録

履歴

新規作成

ページあたりの件数 10 1件中1-1件

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始日時	終了日時
文字列連結		✓ 正常終了	2025/06/23 20:39:21	2025/06/23 20:39:22

ページあたりの件数 10 1件中1-1件

新規作成



- 7 「ステージ」エリア内の要素の色が変わっています。緑色はタスクの実行が正常終了したことを表しています。

履歴

新規作成

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始日時	終了日時
文字列連結		正常終了	2025/06/23 20:39:21	2025/06/23 20:39:22

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

新規作成

ステージ

文字列連結

- 8 タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

詳細情報

タスクID UV05wgd0A59FSrPppACQJw

タスク名 文字列連結

所属

状態 正常終了

ファイルに関する情報

シナリオファイル名 [文字列連結.ums7 \(複製ID: 1\)](#)

シナリオファイル更新者 [admin](#)

シナリオファイル更新日時 2025/06/23 19:46:39

シナリオに関する情報

シナリオ名 [文字列連結](#)

シナリオ更新者 [admin](#)

シナリオ更新日時 2025/06/23 19:49:57

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [文字列連結](#)

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

実行指定 

種別

データ駆動

スケジュール更新者 [admin](#)

スケジュール更新日時 2025/06/23 20:35:21

タスクに関する情報

入力パラメータ	名前	型	値	説明
	InputString1	文字列	WinActor Managerで、	
	InputString2	文字列	シナリオを実行しました。	

データ一覧ファイル

生成日時 2025/06/23 20:39:16

実行予定WinActor 指定なし

実行予定日時 2025/06/23 20:39:16

実行に関する情報

出力パラメータ	名前	型	値
	OutputString	文字列	WinActor Managerで、シナリオを実行しました。

アーカイブファイル

リトライ実行済み回数 0

開始日時 2025/06/23 20:39:21

実行に使用したWinActor [WinActor01@WinActor01](#)

終了日時 2025/06/23 20:39:22

エラー

更新日時 2025/06/23 20:39:22

タスク確認状態 未確認

### 3. 一度実行したシナリオを再実行するには以下の手順で操作します。

- 1 WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。

検索条件

ステージID 部分一致 英数字記号32文字以下

スケジュール名 部分一致 64文字以下

所属

検索結果一覧

新規ステージ登録

ページあたり 10 1件中 1 - 1 件

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結		2025/06/23 20:35:21

ページあたり 10 1件中 1 - 1 件

新規ステージ登録

- 2 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択し、「履歴」エリアの「新規作成」ボタンをクリックします。

検索結果一覧

新規ステージ登録

ページあたり 10 1件中 1 - 1 件

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結		2025/06/23 20:35:21

履歴

新規作成

ページあたり 10 1件中 1 - 1 件

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始日時	終了日時
文字列連結		正常終了	2025/06/23 20:39:21	2025/06/23 20:39:22

新規作成

- 3 「ステージ」エリアに新しいフローが表示されます。先頭の要素をクリックし、Step 2 の手順でデータを登録します。

履歴

新規作成

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始日時	終了日時
文字列連結		正常終了	2025/06/23 20:39:21	2025/06/23 20:39:22

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

新規作成

ステージ

文字列連結

## 7. 複数のシナリオを連続して実行するには

『2 複数のシナリオをまとめて実行するには』で複数のシナリオを連続して実行する方法を説明しましたが、シナリオの中にシナリオ GoTo ライブラリを追加し、ZIP 形式のファイルとして圧縮する必要がありました。

ここでは WinActor Manager の機能を使って複数のシナリオを連続して実行する方法について説明します。この方法を使うと、シナリオ GoTo ライブラリを追加するためのシナリオの編集や ZIP 圧縮は不要となります。

### 7.1 シナリオを準備する

WinActor で実行したいシナリオを 2 つ作成しましょう。

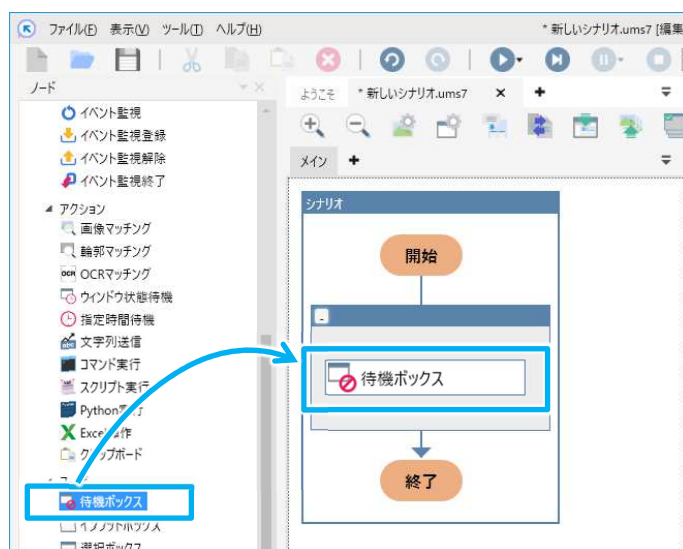
ここでは、1 番目のシナリオとして『6.1 シナリオを準備する』で使用した、2 つのパラメータで文字列を受け取り連結した文字列を出力するシナリオを使います。2 番目のシナリオは 1 番目のシナリオが出力した文字列を受け取り、待機ボックスで画面表示するシナリオとします。2 番目のシナリオは以下の手順で作成します。

- WinActor の操作方法については、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。
- 1 番目のシナリオの作成方法は『6.1 シナリオを準備する』を参照してください。

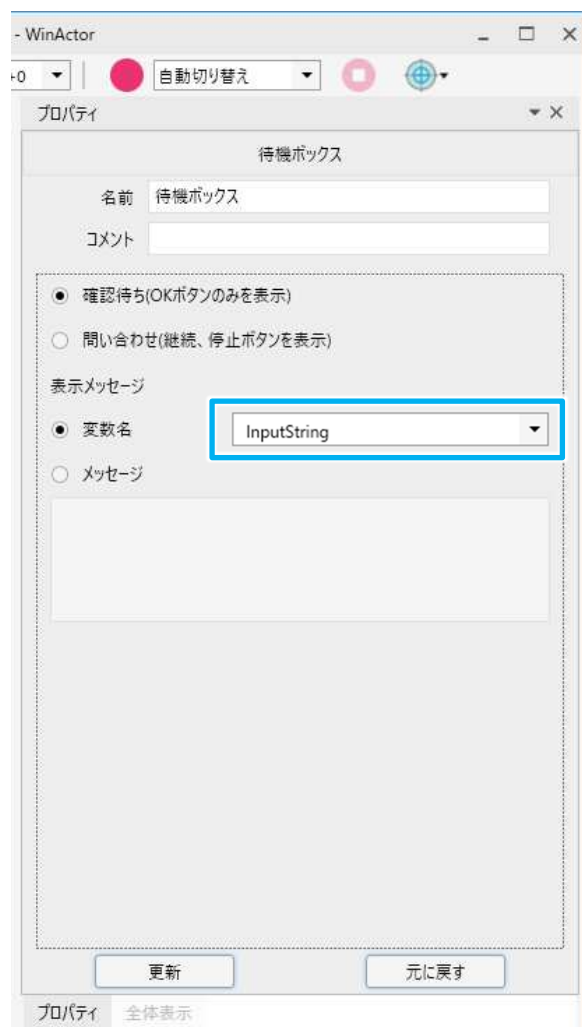
#### Steps

#### 1. 2 番目に実行するシナリオを作成します。

- ① 「ノード」タブから、「待機ボックス」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- 2 「待機ボックス」ノードの「プロパティ」画面で、「変数名」に「InputString」を設定します。



2. 「画面表示.ums7」というファイル名で、シナリオを保存します。

## 7.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

1 番目のシナリオは『6.2 シナリオを登録する』を参照して登録してください。

### Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。

➤ ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.4 ファイルをアップロードする』を参照してください。

➤ 1 番目のシナリオの登録は本書の『6.2 シナリオを登録する』を参照してください。



<input type="checkbox"/>	ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録者	更新日時	ファイルタグ	ダウンロード
<input type="checkbox"/>	画面表示.ums7		1.19 KB	admin	2025/06/23 20:50:57	シナリオファイル(UMS)	
<input type="checkbox"/>	Output.txt		0.04 KB		2025/06/23 20:27:47	出力ファイル(OPF)	
<input type="checkbox"/>	ファイル型パラメータ.ums7		2.66 KB	admin	2025/06/23 20:26:34	シナリオファイル(UMS)	
<input type="checkbox"/>	input.txt		0.04 KB	admin	2025/06/23 20:26:34		
<input type="checkbox"/>	文字列連結.ums7		1.61 KB	admin	2025/06/23 19:46:39	シナリオファイル(UMS)	
<input type="checkbox"/>	メモ帳への文字入力(追記型).ums7		5.09 MB	admin	2025/06/23 19:10:18		
<input type="checkbox"/>	待機BOX2連続GOTO.zip		3.44 KB	admin	2025/06/23 18:50:42		

## 2. 「画面表示.ums7」をシナリオとして登録します。

**>>** シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- 1 シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。



新規作成

シナリオ名  64文字以下

シナリオファイル  **参照** シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

入力パラメータ

出力パラメータ

詳細設定を開く

OK

- 2 「入力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputString」を設定します。



新規作成

シナリオ名 画面表示 64文字以下

シナリオファイル 画面表示.ums7 **参照** シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

入力パラメータ

出力パラメータ

詳細設定を開く

OK

入力パラメータの

名前  255文字以下  
 シナリオファイル内で使用している変数名を設定してください

型 ☒ 文字列 ☐ ファイル ☐ パスワード

必須 ☒ 必須 ☐ 省略可

省略値  10000文字以下

説明  200文字以下

OK キャンセル

新規作成

シナリオ名  64文字以下

シナリオファイル  参照 シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

入力パラメータ

出力パラメータ

詳細設定を開く

OK

③ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成

シナリオ名  64文字以下

シナリオファイル  参照 シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

入力パラメータ

出力パラメータ

詳細設定を開く

OK

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。



### 3. スケジュール登録エリアを表示します。

**>>** スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアで「画面表示」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「連続実行を予約する」を選択します。

詳細情報

シナリオID 8vYaHhF8EsU9x0W4Tu7I8Q

シナリオ名 画面表示

シナリオファイル 画面表示.ums? [🔗](#)

所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString	文字列	必須		

出力パラメータ

パスワード	パスワード設定なし				メモ
タイムアウト	1800				機能タグ
シミュレーションモード	無効				シナリオタグ
オプションセット					修正内容

登録者 admin [🔗](#)

登録日時 2025/06/23 20:53:46

更新者 admin [🔗](#)

更新日時 2025/06/23 20:53:46

実行に関する情報

実行回数	0	最終実行時刻	
成功回数	0	最終実行WinActor	
失敗回数	0	最終実行ステータス	
中断回数	0	次回実行予定時刻	
平均実行時間(秒)	0	次回実行予定WinActor	

スケジュール登録 [🔗](#) [🔗](#) [🔗](#) [🔗](#) [🔗](#)

実行履歴 [🔗](#)

連続実行を予約する

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

#### 4. 連携パラメータを登録します。

- 1 「連携パラメータ」の「+」ボタンをクリックします。

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- 2 「名前」にシナリオの入力パラメータ「InputString」を設定します。プルダウンから選ぶことも可能です。

- 3 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここでは1番目のシナリオの出力パラメータを受け取るため「スケジュールパラメータ型」として設定します。「InputString」が文字列型のパラメータのため、「スケジュールパラメータ(文字列)」を選択します。



入力パラメータの型（文字列型、ファイル型）と、連携パラメータの型（○文字列、○○ファイル）は合わせる必要があります。

入力パラメータの型がファイル型で、ひとつ前のシナリオの出力パラメータとしてファイルを受け取る場合は「スケジュールパラメータ(ファイル)」を選択してください。



ひとつ前のシナリオの結果を受け取るには「スケジュール」で始まる型を選択します。「スケジュールパラメータ」以外は以下の用途で使います。

スケジュールステータス：

ひとつ前のシナリオが成功したときに後続のシナリオを実行したい場合などに使用します。詳しくは『8 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには』を参照してください。

スケジュールアーカイブファイル：

ひとつ前のシナリオがアーカイブファイルを作成する設定のときに、そのアーカイブファイルを受け取ることが出来ます。「ファイル型」の入力パラメータに設定してください。

連携パラメータ

型 スケジュールパラメータ(文字列)

名前 InputString 255文字以下

スケジュールID 参照 スケジュールを指定

パラメータ名 参照 アウトプットパラメータを指定

OK キャンセル

スケジュール ID、パラメータ名の入力欄が表示されます。

- 「スケジュール ID」の「参照」ボタンをクリックします。WinActor Manager に登録されているスケジュールの一覧が表示されます。パラメータを受け取りたいシナリオのスケジュールを確認し、「選択」ボタンをクリックします。

検索条件

スケジュールID 部分一致 英数字記号32文字以下

スケジュール名 部分一致 64文字以下

所属

検索結果一覧

スケジュール名	所属	実行予定WinActor	実行指定	更新日時	有効/無効	選択
文字列連結	指定なし		データ駆動	2025/06/23 20:35:21	有効	選択
ファイル型/パラメータ	WinActor01@WinActor01		即時	2025/06/23 20:27:21	有効	選択
文字列連結	WinActor01@WinActor01		即時	2025/06/23 19:52:34	有効	選択

- 「パラメータ名」の「参照」ボタンをクリックします。

連携パラメータ

型 スケジュールパラメータ(文字列)

前段シナリオの出力結果（文字列）を受け取ります。「名前」には結果を受け取る入力パラメータ名を設定し、対象のスケジュールと出力パラメータ名を選択してください

名前 InputString 255文字以下

スケジュールID FMUnDzOm0oP3VddSo7k 参照

パラメータ名 参照 ？アウトプットパラメータを指定

OK キャンセル

- ⑥ ②で選択したシナリオの出力パラメータが表示されます。対象のパラメータを決定し、[選択] ボタンをクリックします。



連携パラメータの型（○○文字列、○○ファイル）と、ひとつ前のシナリオの出力パラメータの型（文字列型、ファイル型）は合わせる必要があります。そのため出力パラメータの一覧には連携パラメータと同じ型のパラメータしか表示されません。指定したいパラメータ名が一覧に表示されない場合は型の指定に誤りがないか確認してください。

検索結果一覧

出力パラメータ名	型	説明	選択
OutputString	文字列		選択

- ⑦ [OK] ボタンをクリックします。

連携パラメータ

型 スケジュールパラメータ(文字列)

前段シナリオの出力結果（文字列）を受け取ります。「名前」には結果を受け取る入力パラメータ名を設定し、対象のスケジュールと出力パラメータ名を選択してください

名前 InputString 255文字以下

スケジュールID FMUnDzOm0oP3VddSo7k 参照

パラメータ名 OutputString 参照

OK キャンセル

## 5. スケジュールを登録します。

- ① 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名

画面表示

64文字以下

シナリオ情報

画面表示

所属

共有

入力パラメータ

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString	文字列	必須		<div>10000文字以下</div>	

連携パラメータ

名前	型	情報
InputString	スケジュールパラメータ(文字列)	FMUnDzOm0oP3VddSo7k62w

OutputString

↑ ↓ ↗ −

+

実行予定WinActor

指定なし

シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定

種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

スケジュールが登録されます。

## 7.3 シナリオを実行する

データを登録してスケジュールを実行してみましょう。『6.3 データを登録する』の Step 1～2 の手順に従いデータを登録してください。ここでは Step 2 ⑦ まで進めたものとして説明します。

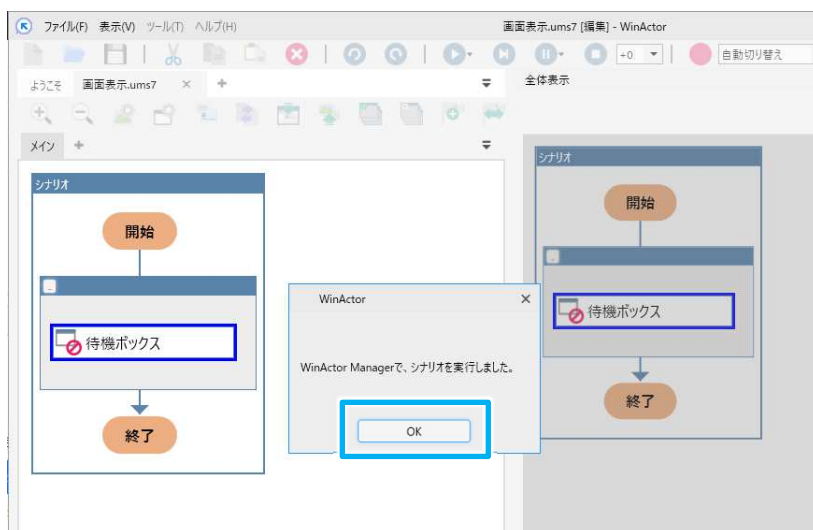
### Steps

#### 1. 進捗を確認します。

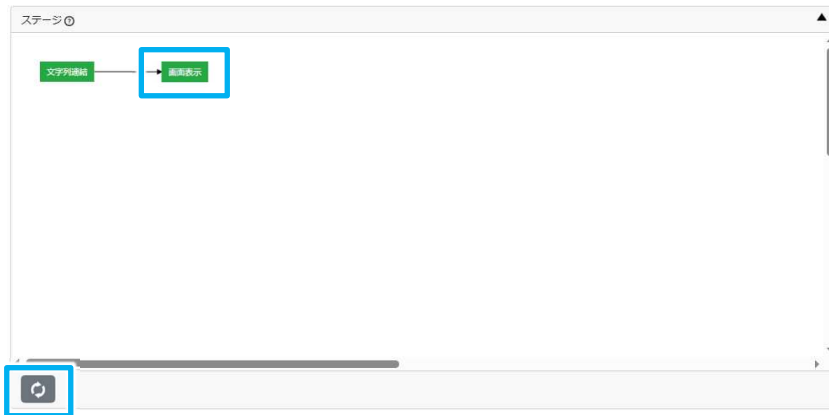
- ① 「ステージ」エリア内の要素の色が変わっています。現在は 2 番目のシナリオが実行されています。水色は実行中のタスクを表しています。



- ② WinActor を見ると 1 番目のシナリオから受け取った文字列を表示しています。ダイアログの [OK] ボタンをクリックしてシナリオを続行します。



- ③ 「リロード」ボタンをクリックすると最新の情報に更新できます。2 番目のシナリオの実行が終わると要素の色が緑に変わります。



- ④ タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

詳細情報

タスクID J4XqSTj3ix0K254WLKsVQ  
タスク名 画面表示  
所属  
状態 正常終了

ファイルに関する情報

シナリオファイル名 [画面表示ums7 \(履歴ID: 1\)](#)  
シナリオファイル更新者 [admin](#)  
シナリオファイル更新日時 2025/06/23 20:50:57

シナリオに関する情報

シナリオ名 [画面表示](#)  
シナリオ更新者 [admin](#)  
シナリオ更新日時 2025/06/23 20:53:46

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [画面表示](#)  
アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない  
ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない  
異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする  
終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する  
実行指定 **種別**  
データ駆動  
スケジュール更新者 [admin](#)  
スケジュール更新日時 2025/06/23 20:57:17

タスクに関する情報

入力パラメータ	名前	型	値	説明
	InputString	文字列	WinActor Managerで、シナリオを実行しました。	

データ一覧ファイル

生成日時 2025/06/23 20:59:20

実行予定WinActor 指定なし

実行予定日時 2025/06/23 20:59:20

実行に関する情報

出力パラメータ

アーカイブファイル

リトライ実行済み回数 0

開始日時 2025/06/23 20:59:50

実行に使用したWinActor [WinActor01@WinActor01](#)

終了日時 2025/06/23 21:01:33

エラー

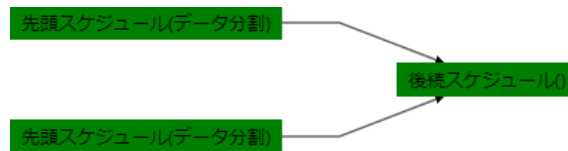
更新日時 2025/06/23 21:01:33

タスク確認状態 未確認

実行時間(秒) 102



ひとつ前に指定できるのは1つのシナリオだけとは限りません。以下のように複数のシナリオの結果を受け取るように設定することも出来ます。



この場合、複数のシナリオの結果が出揃ってから後続のシナリオが実行されるため、前段のすべての処理が終わるまで待ち合わせたい場合などにも使用できます。

---



## 8. 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには

複数のシナリオを連続実行する際に、一つ前のシナリオが成功したときはシナリオ A を実行、失敗したときはシナリオ B を実行、のように条件に合わせて実行するシナリオを設定することが出来ます。

ここでは WinActor Manager の機能を使って条件分岐する方法について説明します。

### 8.1 シナリオを準備する

WinActor で実行したいシナリオを2つ作成しましょう。

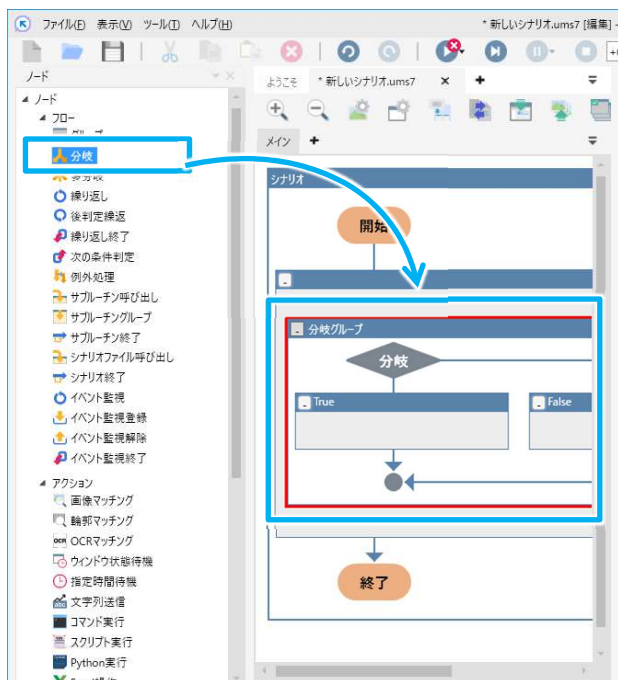
ここでは 1 番目のシナリオとして入力した条件に合わせて正常終了もしくは異常終了するためのシナリオを作成します。2 番目のシナリオは『7.1 シナリオを準備する』で作成した文字列を受け取り、待機ボックスで画面表示するシナリオとします。

- WinActor の操作方法については、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。
- 2 番目のシナリオの作成方法は『7.1 シナリオを準備する』を参照してください。

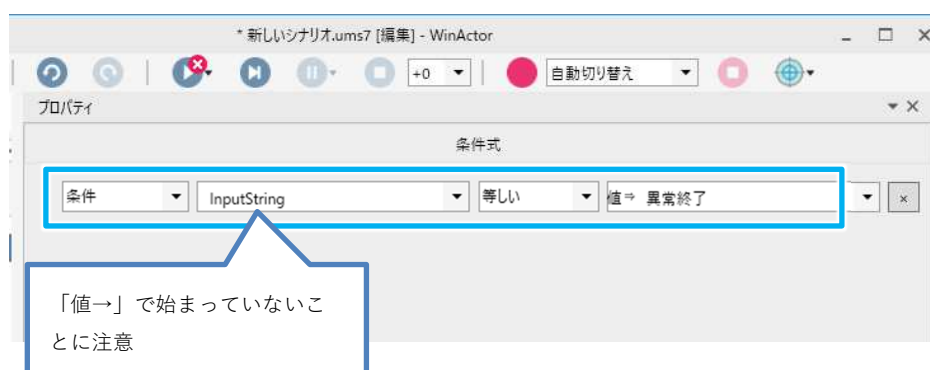
#### Steps

#### 1. 1 番目に実行するシナリオを作成します。

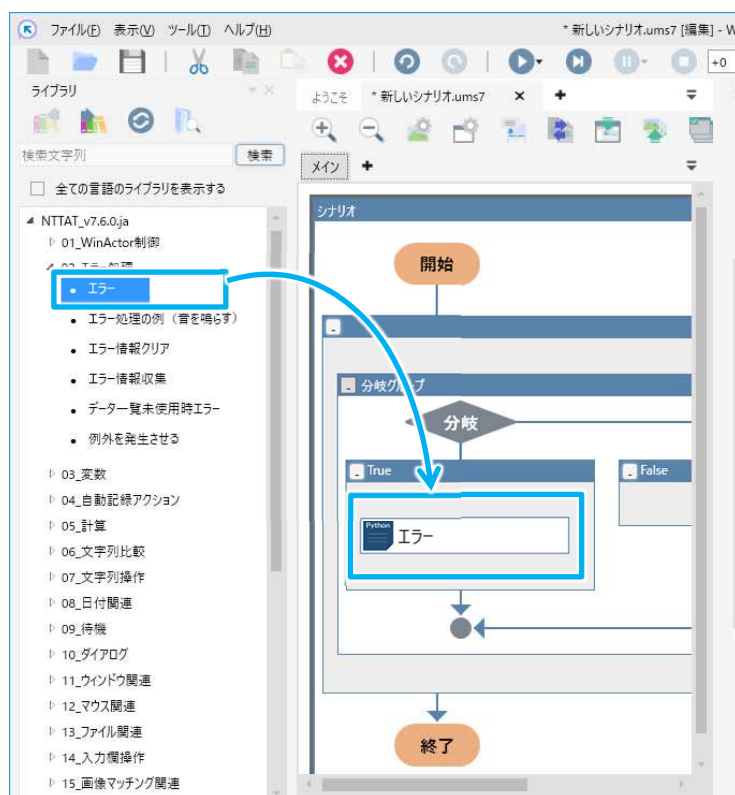
- ① 「ノード」タブから、「分岐」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



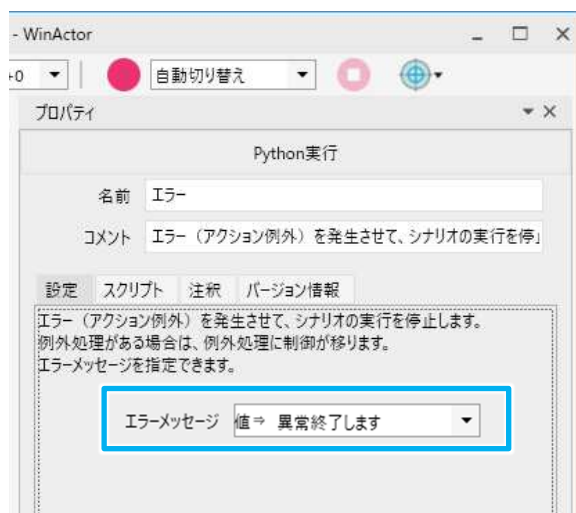
- ② 「分岐」ノードの「プロパティ」画面で、条件式を設定します。「条件式設定」ボタンをクリックし、左側の条件に「InputString」、右側の条件に「異常終了」を設定します。このとき、左側の条件を設定する前にプルダウンから「\*」を選択してから「InputString」と入力することで、InputStringという変数の登録も合わせて実施します。比較演算子は「等しい」のままとします。



- ③ 「ライブラリ」タブから、「エラー」ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。



- ④ 「エラー」ノードの「プロパティ」画面で、「エラーメッセージ」に任意の文字列を設定します。（ここでは「異常終了します」としています）



2. 「条件分岐.ums7」というファイル名で、シナリオを保存します。

## 8.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

『8.1 シナリオを準備する』で作成したシナリオが正常終了した場合、または異常終了した場合に 2 番目のシナリオが実行されるようにシナリオを登録します。





### Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。

➤ ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.4 ファイルをアップロードする』を参照してください。

➤ 2 番目のシナリオの登録は本書の『7.2 シナリオを登録する』を参照してください。



<input type="checkbox"/>	ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録者	更新日時	ファイルタグ	ダウンロード
<input type="checkbox"/>	条件分岐.ums7		1.67 KB	admin	2025/06/23 21:08:04	シナリオファイル(UMS)	
<input type="checkbox"/>	画面表示.ums7		1.19 KB	admin	2025/06/23 20:50:57	シナリオファイル(UMS)	
<input type="checkbox"/>	Output.txt		0.04 KB		2025/06/23 20:27:47	出力ファイル(OPF)	
<input type="checkbox"/>	ファイル型パラメータ.ums7		2.66 KB	admin	2025/06/23 20:26:34	シナリオファイル(UMS)	
<input type="checkbox"/>	input.txt		0.04 KB	admin	2025/06/23 20:26:34		
<input type="checkbox"/>	文字列連結.ums7		1.61 KB	admin	2025/06/23 19:46:39	シナリオファイル(UMS)	
<input type="checkbox"/>	メモ帳への文字入力(追記型).ums7		5.09 MB	admin	2025/06/23 19:10:18		
<input type="checkbox"/>	待機BOX2連続GOTO.zip		3.44 KB	admin	2025/06/23 18:50:42		

## 2. 「条件分岐.ums7」をシナリオとして登録します。

**>>** シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- ① シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。



- ② 「入力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputString」を設定します。



入力パラメータ ①

名前  255文字以下  
シナリオファイル内で使用している変数名を設定してください

型 ☒ 文字列 ☐ ファイル ☐ パスワード

必須 ☒ 必須 ☐ 省略可

省略値  10000文字以下

説明  200文字以下

OK キャンセル

新規作成 ①

シナリオ名  64文字以下

シナリオファイル  参照 シナリオファイルを一括指定

所属 共有 \*

入力パラメータ

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

出力パラメータ

詳細設定を開く

OK

③ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成 ①

シナリオ名  64文字以下

シナリオファイル  参照 シナリオファイルを一括指定

所属 共有 \*

入力パラメータ

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

出力パラメータ

詳細設定を開く

OK

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

### 3. スケジュール登録エリアを表示します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアで「条件分岐」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「連続実行を予約する」を選択します。

詳細情報 ①

シナリオID A9zLHaMa8p900Jh81YKDQ  
シナリオ名 条件分岐  
シナリオファイル [条件分岐.ums27](#)  
所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString	文字列	必須		

出力パラメータ

パスワード	パスワード設定なし	メモ
タイムアウト	1800	機能タグ
シナリオモード	無効	シナリオタグ
オプションセット		修正内容

登録者 [admin](#)  
登録日時 2025/06/23 21:10:02  
更新者 [admin](#)  
更新日時 2025/06/23 21:10:02

実行に関する情報

実行回数	0	最終実行時刻
成功回数	0	最終実行WinActor
失敗回数	0	最終実行ステータス
中断回数	0	次回実行予定時刻
平均実行時間(秒)	0	次回実行予定WinActor

スケジュール登録 + 一括削除

実行履歴 ①

連続実行を予約する

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

#### 4. 連携パラメータを登録します。

- ① 「連携パラメータ」の「+」ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名: 条件分岐 (64文字以下)

シナリオ情報: 条件分岐

所属: 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString	文字列	必須			10000文字以下

連携パラメータ: +

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種類 (データ駆動)

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- ② 「名前」にシナリオの入力パラメータ「InputString」を設定します。「型」は「リクエスト文字列」を設定して「OK」ボタンをクリックします。

連携パラメータ

型: リクエスト文字列

文字列型のデータ登録をきっかけにシナリオを開始します。「名前」には登録した文字列を受け取る入力パラメータ名を設定してください

名前: InputString (255文字以下)

OK

キャンセル

- ③ 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。



スケジュール登録

スケジュール名: 条件分岐 (64文字以下)

シナリオ情報: 条件分岐

所属: 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString	文字列	必須		10000文字以下	

名前	型	情報
InputString	リクエスト文字列	

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種類 (データ駆動)

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

スケジュールが登録されます。

## 5. 2 番目のシナリオをスケジュール登録するためにスケジュール登録エリアを表示します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアで「画面表示」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「連続実行を予約する」を選択します。

詳細情報

シナリオID 8vYeiHf8EsU9x0W4Tu7l8Q

シナリオ名 画面表示

シナリオファイル [画面表示.ums7](#)

所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString	文字列	必須		

出力パラメータ

パスワード

パスワード設定なし

メモ

タイムアウト

1800

機能タグ

シミュレーションモード

無効

シナリオタグ

オプションセット

修正内容

登録者

admin

登録日時

2025/06/23 20:53:46

更新者

admin

更新日時

2025/06/23 20:53:46

実行に関する情報

実行回数	1	最終実行時刻	2025/06/23 20:59:50
成功回数	1	最終実行WinActor	<a href="#">WinActor01@WinActor01</a>
失敗回数	0	最終実行ステータス	正常終了
中断回数	0	次回実行予定時刻	
平均実行時間(秒)	102	次回実行予定WinActor	

スケジュールに関する情報

ページあたりの件数

10

1 件中 1 - 1 件

1

スケジュール名	更新日時
画面表示	2025/06/23 20:57:17

ページあたりの件数

10

1 件中 1 - 1 件

1

スケジュール登録

一括削除

実行履歴

連続実行を予約する

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

## 6. 連携パラメータを登録します。

- 1 「連携パラメータ」の「+」ボタンをクリックします。

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- 2 「名前」を設定します。ここではプルダウンからは選択せず、入力パラメータに含まれない名称で設定してください。



受け取る情報の種類が「文字列型」「ファイル型」の場合は入力パラメータと同じ名前を指定しますが、連携パラメータの型として「スケジュールステータス型」「承認型」を指定する場合は入力パラメータとは異なる名称で登録してください。承認型については『10 承認後にシナリオを開始するには』を参照してください。

- 3 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここではひとつ前の実行結果を受け取るため「スケジュールステータス型」として設定します。

連携/パラメータ ①

型 ▼

名前 **スケジュールステータス** 下

スケジュールパラメータ(メタデータ)  
スケジュールパラメータ(ファイル)  
スケジュールアーカイブファイル  
リクエスト文字列  
リクエストファイル  
承認

OK キャンセル

2025/06/23 20:27:06  
2025/06/23 19:49:57

- ④ 「スケジュール ID」の「参照」ボタンをクリックし、スケジュールを選択してください。

連携/パラメータ ①

型 スケジュールステータス ▼

名前 スケジュール (異常終了) 255文字以下

スケジュールID 参照 スケジュールを指定

ステータス ☐ 正常終了時に実行する  
☐ 異常終了時に実行する  
☐ 正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

OK キャンセル

前段シナリオの終了状態により、本シナリオを実行するかを決定します。「名前」には入力パラメータ名以外の重複しない任意文字列を設定し、対象のスケジュールと条件を選択してください

検索条件 ①

スケジュールID 部分一致 ▼ 英数字記号32文字以下

スケジュール名 部分一致 ▼ 64文字以下

所属 ▼

検索結果一覧 ①

ページあたりの件数 10 ▼ 6 件中 1 - 6 件

スケジュール名	所属	実行予定WinActor	実行指定	更新日時	有効/無効	選択
条件分岐		指定なし	データ駆動	2025/06/23 21:11:43	有効	<span>選択</span>
画面表示		指定なし	データ駆動	2025/06/23 20:57:17	有効	<span>選択</span>
文字列連結		指定なし	データ駆動	2025/06/23 20:35:21	有効	<span>選択</span>

- ⑤ 「ステータス」を選択します。ここでは「異常終了」のラジオボタンを選択します。

連携パラメータ

型: スケジュールステータス

名前: スケジュール (異常終了) 255文字以下

スケジュールID: GTZ9ZJAUf6zA8MLYCg2wC 参照

ステータス: ☒ 異常終了時に実行する

OK キャンセル

⑥ [OK] ボタンをクリックします。

連携パラメータ

型: スケジュールステータス

名前: スケジュール (異常終了) 255文字以下

スケジュールID: GTZ9ZJAUf6zA8MLYCg2wC 参照

ステータス: ☒ 異常終了時に実行する

OK キャンセル

## 7. スケジュールを登録します。

① 「名前」欄と「入力パラメータ」の「InputString」に「異常終了時に実行」と記載します。



入力パラメータの一部、もしくはすべてを連携パラメータとして指定できますが、連携パラメータとして指定しなかった入力パラメータについては本画面で直接値を指定できます。

スケジュール登録 ①

スケジュール名  4文字以下

シナリオ情報 画面表示 参照

所属 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString	文字列	必須		<input type="text" value="異常終了時に実行"/>	

連携パラメータ

名前	型	情報
ステータス（異常終了）	スケジュールステータス	GTZ9ZJAUf6zA8MLYCg2wGw 異常終了時に実行する

実行予定WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定 種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く OK

- ② 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録 ②

スケジュール名  64文字以下

シナリオ情報 画面表示 参照

所属 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString	文字列	必須		<input type="text" value="異常終了時に実行"/>	10000文字以下

連携パラメータ

名前	型	情報
ステータス（異常終了）	スケジュールステータス	GTZ9ZJAUf6zA8MLYCg2wGw 異常終了時に実行する

実行予定WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定 種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く OK

スケジュールが登録されます。

8. Step 5～7を繰り返し、もうひとつ実行するシナリオを登録します。

- ① ひとつ前のスケジュールは Step 5 ④と同じものを指定してください。
- ② Step 5 ⑤ のステータスは「正常終了」のラジオボタンを選択してください。
- ③ Step 7 ① の「名前欄」と「InputString」は「正常終了時に実行」と指定してください。

スケジュール登録

スケジュール名 正常終了時に実行 64文字以下

シナリオ情報 画面表示 参照

所属 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString	文字列	必須		正常終了時に実行	

連携パラメータ

ステータス (正常終了)	スケジュールステータス	GTZ9ZJAuF6zA8MLYCg2wGw	正常終了時に実行する

実行予定WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定 種類

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

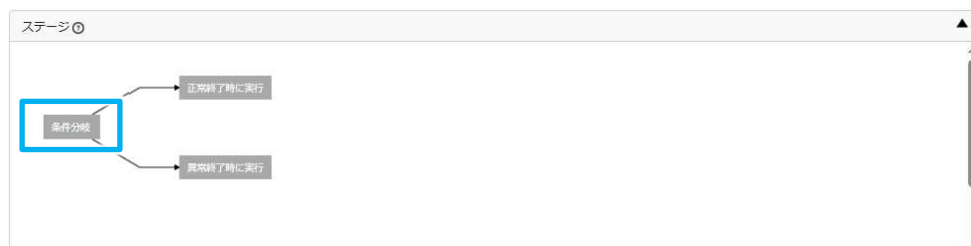
## 8.3 シナリオを実行する

スケジュールを実行してシナリオを順に実行してみましょう。

### Steps

#### 1. 進捗を確認します。

- ① 進捗画面を開き検索結果一覧から「条件分岐」の項目を選択します。「ステージ」領域で「条件分岐」のノードから「正常終了時に実行」「異常終了時に実行」へ2本の矢印が出ていることを確認し、「条件分岐」のノードをクリックします。



#### 2. 1 番目のシナリオを実行します。

- ① 「詳細情報」内の「入力パラメータ」「設定」ボタンをクリックします。



詳細情報

ステージID [vsoDhtalLWhp3AAHq6osaA](#)

所属

シナリオに関する情報

シナリオ名 [条件分岐](#)

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [条件分岐](#)

分割元スケジュールID

実行指定 **種別**

データ駆動

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

有効/無効 有効

メモ

タスクに関する情報

タスク名

状態 待機中

入力パラメータ

名前	型	値	説明
InputString	リクエスト文字列		

連携パラメータ

シナリオを実行するための入力パラメータ、連携パラメータがすべて揃うと編集できなくなります

データ一覧ファイル

実行予定WinActor 指定なし

データ分割数 1

登録日時 2025/06/23 21:11:43

**設定**

- ② 「値」に「異常終了」と入力し [OK] ボタンをクリックします。

リクエストパラメータ

名前 InputString

値

異常終了 10000文字以下

**OK** キャンセル

- ③ 1 番目のシナリオが実行されます。「異常終了」という文字列が入力されると異常終了するシナリオのため、実行されたタスクは異常終了しています。

The top part of the image shows a UML diagram in a software editor. The diagram starts with an orange oval labeled '開始' (Start). It then enters a '分岐グループ' (Branch Group) container. Inside this group, there is a diamond-shaped decision node labeled '分岐' (Branch). From the '分岐' node, two paths emerge: one labeled 'True' leading to a rectangular box labeled 'Python エラー' (Python Error), and another labeled 'False' leading to a connector. Both paths merge at a circular join node before exiting the '分岐グループ' container. The bottom part of the image shows a search results table titled '検索結果一覧' (Search Results List). The table has columns for various attributes, and the first row is highlighted with a blue border.

検索結果一覧	ページあたりの件数	10	1 件中 1 - 1 件	1	30	ダウンロード	
条件分岐	異常終了	2025/06/23 21:21:28	2025/06/23 21:21:28	2025/06/23 21:21:56	2025/06/23 21:22:00	4	2025/06/23 21:22:00

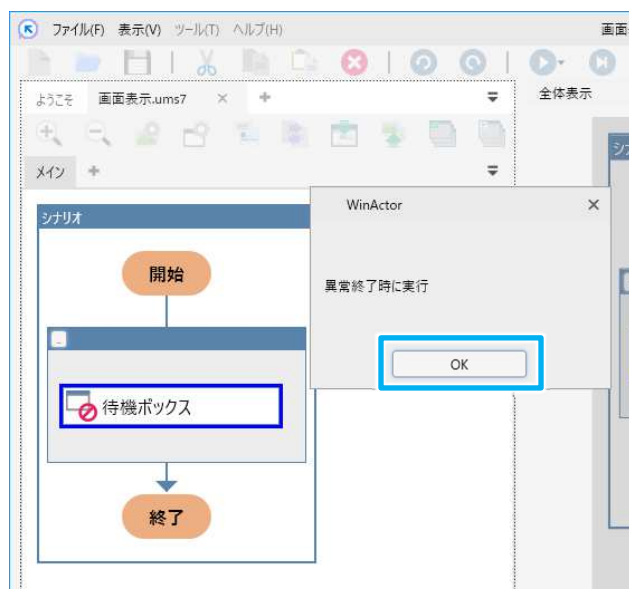
### 3. もう一度進捗を確認します。

- 1 「進捗」画面を表示し、「履歴」エリアから最新の項目をクリックします。「異常終了時に実行」の要素が水色になっています。

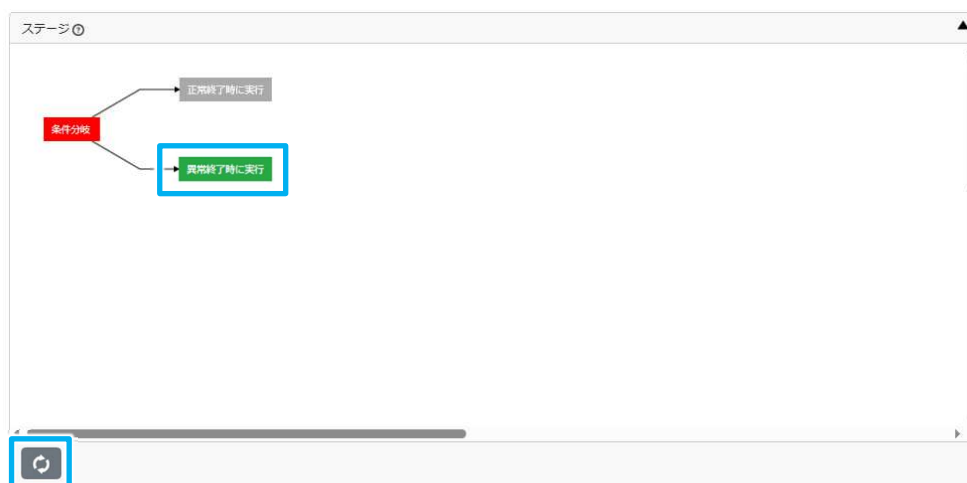


ひとつ前のシナリオが異常終了したために、異常終了を条件としたシナリオが実行されています。タスクを正常終了した場合は正常終了のシナリオが実行されます。

- 2 WinActor を見ると「異常終了時に実行」のダイアログが表示されています。ダイアログの [OK] ボタンをクリックしてシナリオを続行します。



- ③ [リロード] ボタンをクリックすると最新の情報に更新できます。2 番目のシナリオの実行が終わると要素の色が緑に変わります。



- ④ 各タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

詳細情報 ①

タスクID F8orush8H8W0H8tsezX8g

タスク名 異常終了時に実行

所属

状態 正常終了

ファイルに関する情報

シナリオファイル名 [画面表示:ums7 \(環境ID:1\)](#)

シナリオファイル更新者 [admin](#)

シナリオファイル更新日時 2025/06/23 20:50:57

シナリオに関する情報

シナリオ名 [画面表示](#)

シナリオ更新者 [admin](#)

シナリオ更新日時 2025/06/23 20:53:46

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [異常終了時に実行](#)

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

実行指定 種別

データ駆動

スケジュール更新者 [admin](#)

スケジュール更新日時 2025/06/23 21:18:41

タスクに関する情報

入力パラメータ	型	値	説明
InputString	文字列	異常終了時に実行	

データ一覧ファイル

生成日時 2025/06/23 21:22:00

実行予定WinActor 指定なし

実行予定日時 2025/06/23 21:22:00

実行に関する情報

出力パラメータ

アーカイブファイル

リトライ実行済み回数 0

開始日時 2025/06/23 21:22:30

実行に使用したWinActor [WinActor01@WinActor01](#)

終了日時 2025/06/23 21:37:58

エラー

## 9. データを分割して複数の WinActor で実行するには

ここまでいくつかの WinActor Manager の操作方法を説明しましたが、どの方法も 1 台の WinActor にシナリオとデータを渡して処理を行い、結果を WinActor Manager に登録するというものでした。この方法でも処理を行うことは出来ませんが、扱うデータのサイズが大きくなると 1 台の WinActor を長時間専有してしまう、予定時間内に処理が終わらないといった問題が発生してしまいます。このようなケースでは扱うデータを分割し、複数の WinActor で並行して処理を行うことで処理時間を短縮できる場合があります。

ここでは WinActor Manager の機能を使ってデータ分割を行う方法について説明します。



WinActor Manager ではデータの分割はできますが、分割実行して得られた結果を結合する機能はありません。分割された結果を結合する専用のシナリオを作成し、分割と結合を続けて実行することで最終的な結果を得るようにしてください。



WinActor Manager でデータ分割できるのはデーター一覧ファイルのみとなりますのでご注意ください。

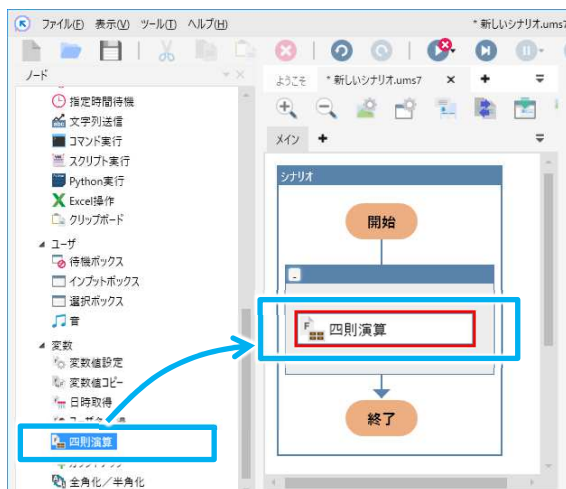
### 9.1 シナリオを準備する

ここでは、例として、入力となるデーター一覧ファイル内の金額を元に税込金額を算出して結果をファイル出力するシナリオを作成します。

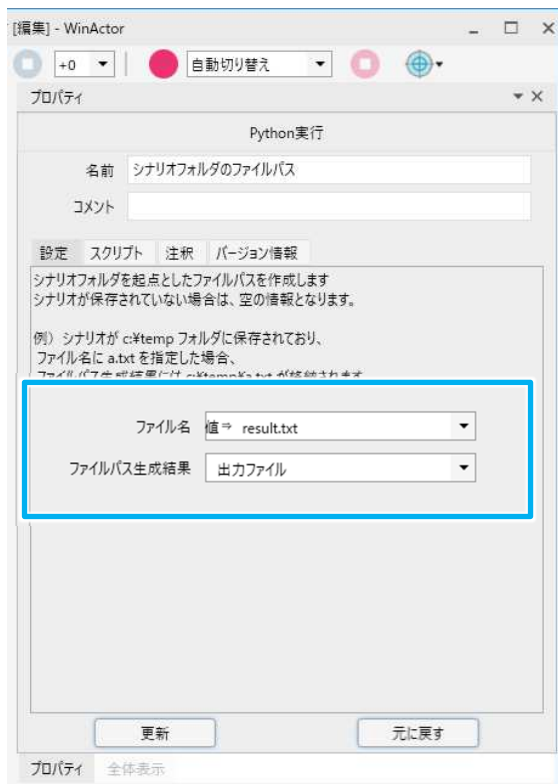
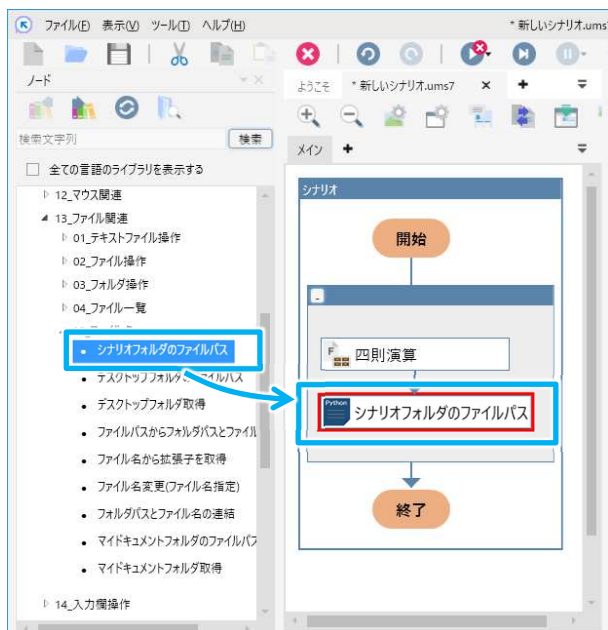
#### Steps

#### 1. WinActor でシナリオを作成します。

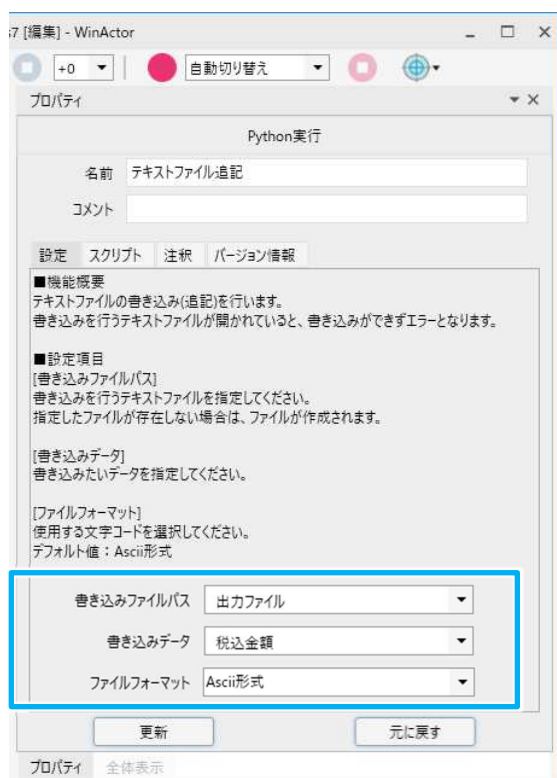
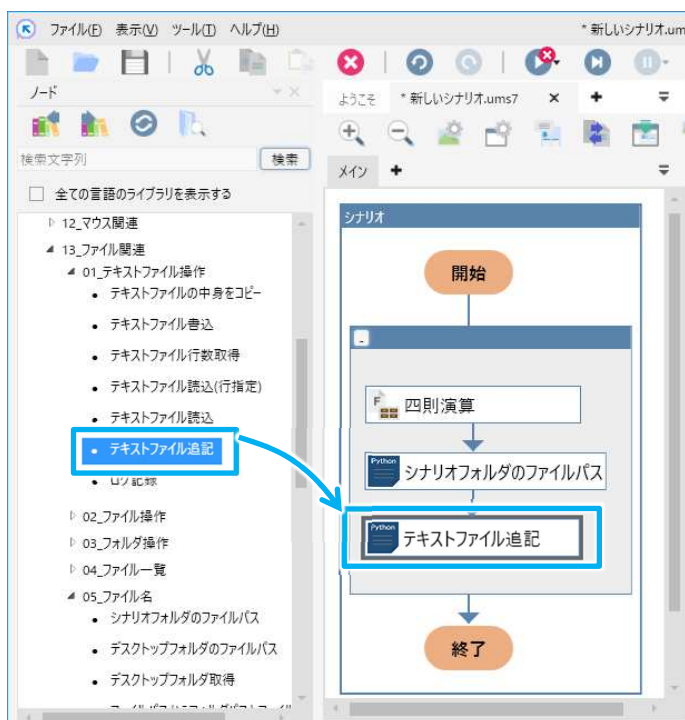
- ① 「ノード」タブから、「四則演算」ノードをドラッグ&ドロップし、プロパティ画面から設定します。



- ② 「シナリオフォルダのファイルパス」 ライブラリを追加し、出力ファイル名を設定します。



- ③ 「テキストファイル追記」ライブラリを追加し、算出した「税込金額」を出力ファイルに追記するように設定します。



- ④ 「税率計算.ums7」というファイル名で、シナリオを保存します。



## 2. データ一覧ファイルを作成します。

- ① テキストエディタを開きデータ一覧ファイルを作成します。1 行目は作成したシナリオの変数名に合わせて「金額」という固定文字列としてください。2 行目からは税込金額算出対象の金額を記載します。



- ② 「金額.csv」というファイル名で保存します。拡張子は「.csv」としてください。



ファイル保存時の文字コードは WinActor の設定「CSV ファイルエンコーディング」に合わせてください。

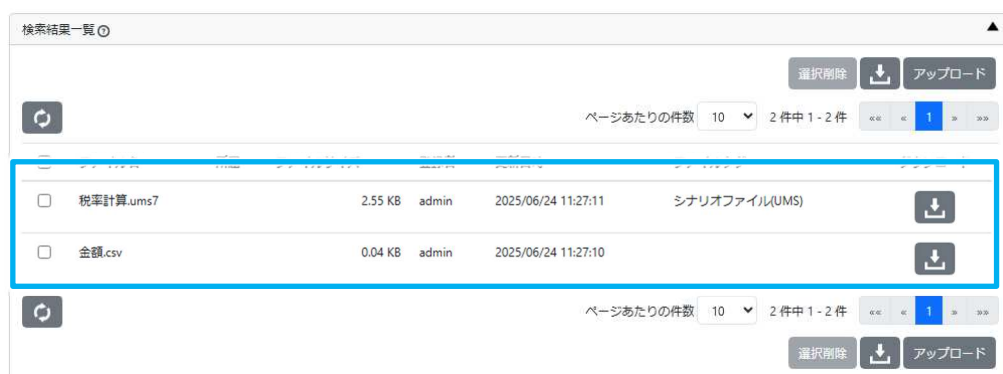
## 9.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

### Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。  
また、入力ファイルとなるテキストファイルもアップロードします。

➡ ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.4 ファイルをアップロードする』を参照してください。



2. アップロードしたシナリオファイルをシナリオとして登録します。

➡ シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- ① シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。



- ② 「出力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの出力用変数「出力ファイル」を設定します。「型」には「ファイル」を設定します。

新規作成

シナリオ名 税率計算 64文字以下

シナリオファイル 税率計算.ums? 参照 シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

入力パラメータ +

出力パラメータ	名前	型	説明
	出力ファイル	ファイル	

+ ↑ ↓ ↗ -

詳細設定を開く

OK

- ③ 必要に応じて、その他の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。

新規作成

シナリオ名 税率計算 64文字以下

シナリオファイル 税率計算.ums? 参照 シナリオファイルの一つ指定

所属 共有

入力パラメータ +

出力パラメータ	名前	型	説明
	出力ファイル	ファイル	

+ ↑ ↓ ↗ -

詳細設定を開く

OK

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

### 3. スケジュール登録エリアを表示します。

**>>** スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「連続実行を予約する」を選択します。

詳細情報

シナリオID: B7GoFIFDXshF3L1j4OMZA  
シナリオ名: 税率計算  
シナリオファイル: [税率計算.ums47](#)

所屬

シナリオに関する情報

入力パラメータ	名前	型	説明
出力パラメータ	出力ファイル	ファイル	
パスワード	パスワード設定なし		メモ
タイムアウト	1800		機能タグ
シミュレーションモード	無効		シナリオタグ
オプションセット			修正内容
			登録者: <a href="#">admin</a>
			登録日時: 2025/06/24 11:28:55
			更新者: <a href="#">admin</a>
			更新日時: 2025/06/24 11:28:55

実行に関する情報

実行回数	0	最終実行時刻	
成功回数	0	最終実行WinActor	
失敗回数	0	最終実行ステータス	
中断回数	0	次回実行予定時刻	
平均実行時間(秒)	0	次回実行予定WinActor	

スケジュール登録

連続実行を予約する

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

#### 4. データ一覧ファイルを設定します。

- 1 「[詳細設定を開く]」をクリックします。

スケジュール登録 ①

スケジュール名 税率計算 64文字以下

シナリオ情報 税率計算

所属 共有

入力パラメータ

連携パラメータ +

実行予定WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定 種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

- 2 「データ一覧ファイル」のプルダウンをクリックし、「リクエストファイルを指定」を選択します。

スケジュール登録 ②

スケジュール名 税率計算 64文字以下

シナリオ情報 税率計算

所属 共有

入力パラメータ

連携パラメータ +

実行予定WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定 種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

データ一覧ファイル リクエストファイルを指定

データ分割数 1 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割します。1を指定した場合は分割しません。

データ一覧ファイルの登録をきっかけにシナリオを開始します。データ分割数を設定可能ですが、2以上を設定した場合は実行予定WinActorを選択することはできません。

アーカイブ

☐ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する

☒ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

☐ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

☒ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

☐ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

☒ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

☒ 送信しない

☐ 終了時に送信する

☐ 正常終了時のみ送信する

☒ 異常終了時のみ送信する

リトライ回数 0 0以上12以下の数値

リトライ間隔 0 0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK



データ一覧ファイルは3種類の方法で指定することができます。

ファイルを参照：

いままでのデータ一覧ファイルの指定と同じく、スケジュール登録時点で使用するデータ一覧ファイルが決まっている場合に指定します。データ分割するためには「連続実行を予約する」から予約する必要があります。

リクエストファイルを指定：

連携パラメータのリクエスト文字列、リクエストファイルと同様に、データを登録したタイミングでシナリオを実行したいときに指定します。

アウトプットパラメータを指定：

ひとつ前のシナリオの出力結果をデータ一覧ファイルとして受け取るときに指定します。対象のスケジュールと出力パラメータ名を合わせて指定する必要があります。

## ② 「データ分割数」に分割数を指定します。ここでは「2」を指定します。

スケジュール登録 ①

スケジュール名

税率計算

64文字以下

シナリオ情報

税率計算

所属

共有

入力パラメータ

連携パラメータ

+

実行予定WinActor

指定なし

シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定

種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開じる

データ一覧ファイル

リクエストファイルを選択

データ分割数

2

2以上を指定することでその数だけデータ一覧ファイルを分割します。1を指定した場合は分割しません。

データ一覧ファイルの登録をきっかけにシナリオを開始します。データ分割数を設定可能ですが、2以上を設定した場合は実行予定WinActorを選択することはできません

アーカイブ

☐ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する

☐ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

☐ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

☐ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

☐ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

☐ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

☐ 送信しない

☐ 終了時に送信する

☐ 正常終了時のみ送信する

☒ 異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0

0以上12以下の数値

リトライ間隔

0

0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK



データ分割数にはデータ数より小さい値を指定することは出来ません。また、データ分割数はスケジュール登録時に指定しますので、シナリオ実行中にリクエストファイル、またはアウトプットパラメータとしてデータ一覧ファイルを受け取る際には、指定したデータ分割数より小さいデータとならないようご注意ください。



データ分割数を指定した場合はシナリオを実行する WinActor を指定することは出来ません。また、先に WinActor を指定している場合はデータ分割数を指定することは出来ません。

## 5. スケジュールを登録します。

- ① 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録 ①

スケジュール名: 税率計算 (64文字以下)

シナリオ情報: 税率計算

所属: 共有

入力パラメータ: +

連携パラメータ: +

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種類: データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を閉じる

データ一覧ファイル: リクエストファイルを指定

データ分割数: 2 (2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割します。1を指定した場合は分割しません。)

データ一覧ファイルの登録をきっかけにシナリオを開始します。データ分割数を設定可能ですが、2以上を設定した場合は実行予定WinActorを選択することはできません

アーカイブ: ☐ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する ☒ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ: ☐ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する ☒ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時: ☐ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる ☒ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信: ☐ 送信しない ☐ 終了時に送信する ☐ 正常終了時のみ送信する ☒ 異常終了時のみ送信する

リトライ回数: 0 (0以上12以下の数値)

リトライ間隔: 0 (0以上3600以下の数値 単位は秒)

メモ: (200文字以下)

OK

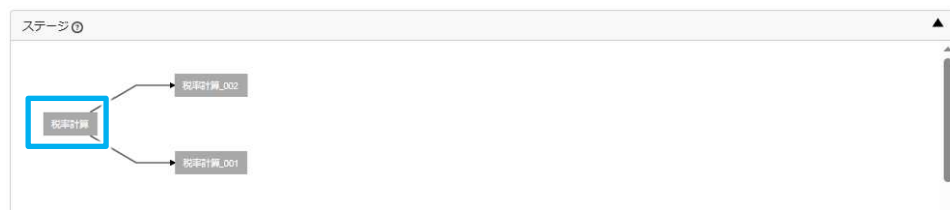
スケジュールが登録されます。

## 9.3 シナリオを実行する

データを登録してスケジュールを実行してみましょう。

### Steps

1. フロー画面を表示します。
  - ① WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。
  - ② 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択します。
  - ③ 「ステージ」エリアで先頭の要素をクリックします。データ分割時は親要素に続いて子要素が表示されています。



「詳細情報」エリアが表示されます。

2. データを登録します。
  - ① [データ一覧ファイル] 欄の [設定] ボタンをクリックします。



詳細情報 ①

ステージID [GtVmbkuY88XXLc6Ch7pQ](#)

所属

シナリオに関する情報

シナリオ名 [税率計算](#)

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [税率計算](#)

分割元スケジュールID

実行指定 **種別**

データ駆動

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

有効/無効 有効

メモ

タスクに関する情報

タスク名

状態 待機中

入力パラメータ

名前	型	値	説明
	リクエスト		
	データー一覧		
	ファイル		

連携パラメータ

シナリオを実行するための入力パラメータ、連携パラメータがすべて揃うと編集できなくなります

データー一覧ファイル

実行予定WinActor 指定なし

登録日時 2025/06/24 11:30:59

出力パラメータ

アーカイブファイル

開始日時

リトライ実行済み回数 0

終了日時

更新日時 2025/06/24 11:30:59

実行に関する情報

- ② リクエストパラメータ入力ダイアログが表示されます。[参照] ボタンをクリックし、データー一覧ファイルとして設定したいファイルを決めて [選択] ボタンをクリックします。ファイルを選択したら [OK] ボタンをクリックします。

リクエストパラメータ ①

型 リクエストデーター一覧ファイル

値

参照

ファイルを一つ指定

OK キャンセル

検索結果一覧 ①

ページあたりの件数 10 2 件中 1 - 2 件

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録者	更新日時	ファイルタグ	選択
税率計算.ums7		2.55 KB	admin	2025/06/24 11:27:11	シナリオファイル(UMS)	選択
金額.csv		0.04 KB	admin	2025/06/24 11:27:10		選択

ページあたりの件数 10 2 件中 1 - 2 件

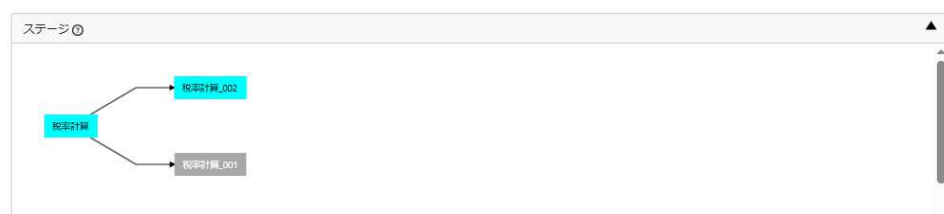
リクエストパラメータ ⑩

型 リクエストデータ一覧ファイル

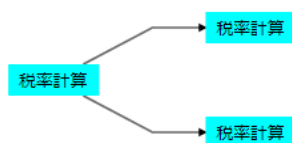
値 HqfwsRMqlphRbHHYktsTg 参照

OK キャンセル

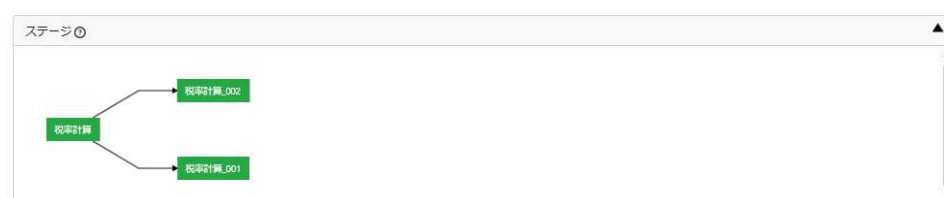
- ③ すべてのリクエストパラメータの登録が終わると実行が開始されます。「検索結果一覧」エリアまで画面をスクロールし、対象のスケジュールをクリックします。
- ④ 「履歴」エリアに新しい行が表示されているのでクリックします。
- ⑤ 「ステージ」エリア内の子要素の色が変わっています。水色は実行中のタスクを表しています。



複数の WinActor が使用可能であれば並行してタスクを実行することが出来ます。



- ⑥ 「リロード」ボタンをクリックすると最新の情報に更新できます。タスクの実行が終わると要素の色が緑に変わります。



7 各タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

タスクID

タスク名

状態

シナリオファイル名

シナリオファイル更新者

シナリオファイル更新日時

シナリオ名

シナリオ更新者

シナリオ更新日時

スケジュール名

アーカイブ

ログ

異常発生時

終了後のメール送信

実行指定

スケジュール更新者

スケジュール更新日時

入力パラメータ

データ一覧ファイル

実行予定WinActor

出力パラメータ

アーカイブファイル

開始日時

終了日時

タスク名

タスク名

状態

シナリオファイル名

シナリオファイル更新者

シナリオファイル更新日時

シナリオ名

シナリオ更新者

シナリオ更新日時

スケジュール名

アーカイブ

ログ

異常発生時

終了後のメール送信

実行指定

スケジュール更新者

スケジュール更新日時

入力パラメータ

データ一覧ファイル

実行予定WinActor

出力パラメータ

アーカイブファイル

開始日時

終了日時

タスクID

タスク名

状態

シナリオファイル名

シナリオファイル更新者

シナリオファイル更新日時

シナリオ名

シナリオ更新者

シナリオ更新日時

スケジュール名

アーカイブ

ログ

異常発生時

終了後のメール送信

実行指定

スケジュール更新者

スケジュール更新日時

入力パラメータ

データ一覧ファイル

実行予定WinActor

出力パラメータ

アーカイブファイル

開始日時

終了日時

タスク名

タスク名

状態

シナリオファイル名

シナリオファイル更新者

シナリオファイル更新日時

シナリオ名

シナリオ更新者

シナリオ更新日時

スケジュール名

アーカイブ

ログ

異常発生時

終了後のメール送信

実行指定

スケジュール更新者

スケジュール更新日時

入力パラメータ

データ一覧ファイル

実行予定WinActor

出力パラメータ

アーカイブファイル

開始日時

終了日時

- ⑧ 「ファイル」画面を見ると分割されたデータ一覧ファイルと各タスクから出力された結果が保存されています。

検索結果一覧

選択削除 [ダウンロード] アップロード

ページあたりの件数 10 6件中 1 - 6件

<input type="checkbox"/>	ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録者	更新日時	ファイルタグ	ダウンロード
<input type="checkbox"/>	result.txt		0.04 KB		2025/06/24 11:33:09	出力ファイル(OPF)	[ダウンロード]
<input type="checkbox"/>	result.txt		0.01 KB		2025/06/24 11:33:06	出力ファイル(OPF)	[ダウンロード]
<input type="checkbox"/>	金額_002.csv		0.02 KB	admin	2025/06/24 11:32:35	データ一覧ファイル(DLF)	[ダウンロード]
<input type="checkbox"/>	金額_001.csv		0.02 KB	admin	2025/06/24 11:32:35	データ一覧ファイル(DLF)	[ダウンロード]
<input type="checkbox"/>	税率計算.ums7		2.55 KB	admin	2025/06/24 11:27:11	シナリオファイル(UMS)	[ダウンロード]
<input type="checkbox"/>	金額.csv		0.04 KB	admin	2025/06/24 11:27:10		[ダウンロード]

ページあたりの件数 10 6件中 1 - 6件

選択削除 [ダウンロード] アップロード



『8 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには』でスケジュール  
ルステータスにより条件分岐する方法を説明しましたが、データ分割した場  
合の親と子のステータスは次のように決まります。

子のステータスは指定した子シナリオの終了状態のみで確定しますが、親の  
ステータスはすべての子の処理が終わってから確定します。一部の子シナリ  
オが正常終了でも中断や異常終了の子シナリオがあると親のステータスも中  
断や異常終了となります。

また、すべての子の処理が終わってから親のステータスが確定することから、  
子の処理がすべて終わるまで待ち合わせたい場合などにも使用できます。

## 10. 承認後にシナリオを開始するには

『6 日時以外のタイミングでシナリオを実行するには』ではデータ登録時にシナリオを実行する方法を紹介しましたが、シナリオ実行方法には他にもあります。それは人手によるシナリオ実行です。WinActor Manager には承認機能があり、承認者に任命されたユーザがシナリオやデータを確認し、処理を開始しても良いと判断したときに「承認」の合図を送ることでシナリオを実行することが出来ます。

ここでは WinActor Manager の機能を使って承認を行う方法について説明します。



ここではシナリオ全体を実行するために承認機能を用いていますが、シナリオの途中で承認を行うことも出来ます。この場合は途中結果を確認し、問題ない場合は承認により処理を続行する、または却下により処理を中断するといった使い方ができます。

### 10.1 シナリオを準備する

ここでは、『6.1 シナリオを準備する』で作成した、2つの文字列を受け取り、連結した文字列を出力するシナリオを使って説明します。シナリオの作成方法は『4.1 シナリオを準備する』を参照してください。


## 10.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

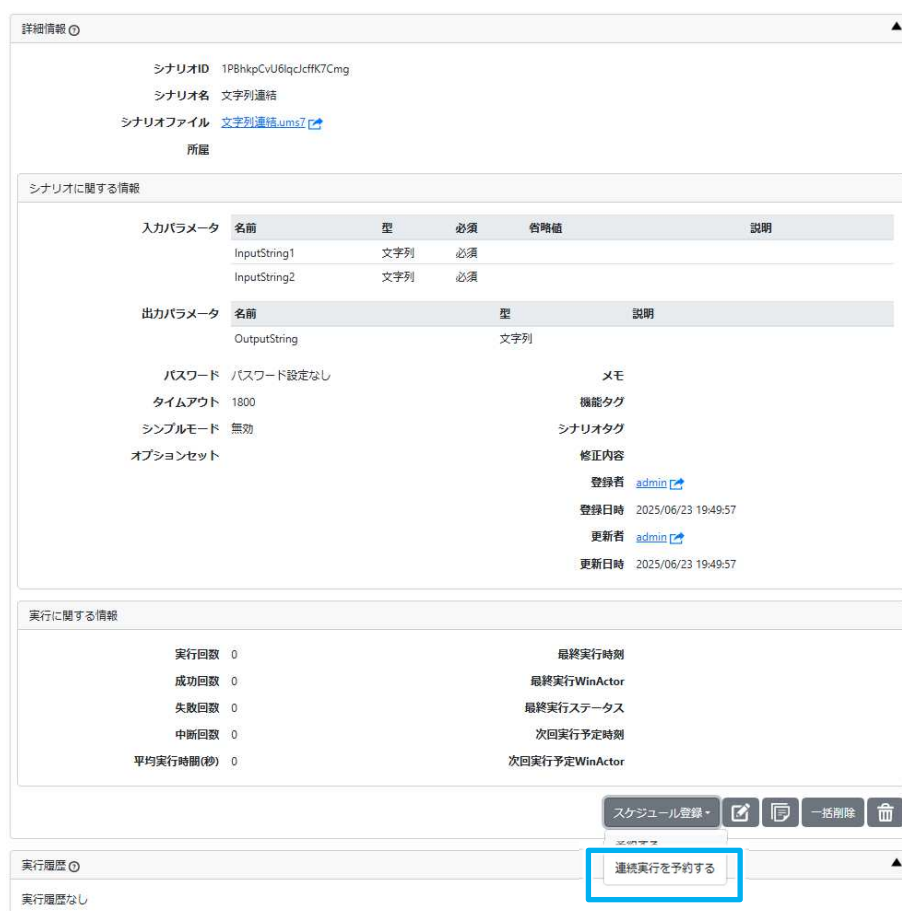
『4.2 シナリオを登録する』の Step 2 までの手順を参考にシナリオ登録まで実施してください。ここではスケジュール登録方法から説明します。

### Steps

1. シナリオをスケジュール登録するためにスケジュール登録エリアを表示します。

 スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。


- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアで「画面表示」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ 「スケジュール登録」ボタンをクリックし、「連続実行を予約する」を選択します。



詳細情報

シナリオID 1PBhkpCvU6lqclcfK7Cmg

シナリオ名 文字列連携

シナリオファイル 文字列連携.ums7 

所属

シナリオに関する情報

入力パラメータ	名前	型	必須	省略値	説明
	InputString1	文字列	必須		
	InputString2	文字列	必須		

出力パラメータ	名前	型	説明
	OutputString	文字列	

パスワード パスワード設定なし

タイムアウト 1800

シナリオモード 無効


オプションセット

メモ


機能タグ

シナリオタグ

修正内容

登録者 admin 




登録日時 2025/06/23 19:49:57

更新者 admin 

更新日時 2025/06/23 19:49:57

実行に関する情報

実行回数	0	最終実行時刻	
成功回数	0	最終実行WinActor	
失敗回数	0	最終実行ステータス	
中断回数	0	次回実行予定時刻	
平均実行時間(秒)	0	次回実行予定WinActor	

スケジュール登録   一括削除 

実行履歴

実行履歴なし

連続実行を予約する

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

## 2. 連携パラメータを登録します。

- 1 [連携パラメータ] の [+] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名: 文字列連結 (64文字以下)

シナリオ情報: 文字列連結

所属: 共有

入力パラメータ

名前	型	必須	説明	値	省略値
InputString1	文字列	必須		10000文字以下	
InputString2	文字列	必須		10000文字以下	

連携パラメータ: +

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種別 (データ駆動)

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く OK

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- 2 「名前」を設定します。承認型を設定するためここではプルダウンからは選択せず、入力パラメータに含まれない名称で設定してください。

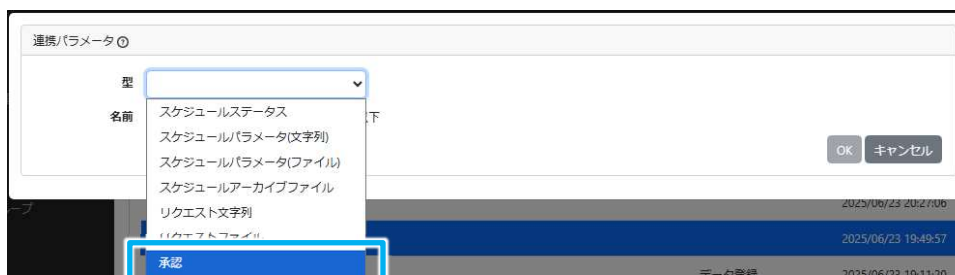
連携パラメータ

型: [プルダウン]

名前: 承認 (255文字以下)

OK キャンセル

- ③ 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここでは承認を行うため「承認型」として設定します。



- ④ 「承認者 ID」の「参照」ボタンをクリックします。



- ⑤ 承認者とするユーザを決定し、ユーザ名の列の「選択」ボタンをクリックします。



- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。



連携パラメータ

型 承認

シナリオの処理結果を確認し、後段の処理を続けるかを判断します。「名前」には入力パラメータ名以外の重複しない任意文字列を設定し、判断を行う承認者を選択してください

名前 承認 255文字以下

承認者ID JSpH8qQyOEYdUldRyOtgP. 参照

OK キャンセル



複数の承認者を選ぶことも可能です。その場合、すべての承認者が承認した場合にシナリオが実行することになります。

### 3. スケジュールを登録します。

- ① 「InputString1」「InputString2」に任意の文字列を登録し、「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

スケジュール名 文字列連結 64文字以下

シナリオ情報 文字列連結

所属 共有

入力パラメータ

パラメータ名	型	必須	値	省略値
InputString1	文字列	必須	WinActor Managerで、	
			10000文字以下	
InputString2	文字列	必須	シナリオを実行しました。	
			10000文字以下	

連携パラメータ

名前	型	情報
承認	承認	JSpH8qQyOEYdUldRyOtgP.A

実行予定WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定 種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

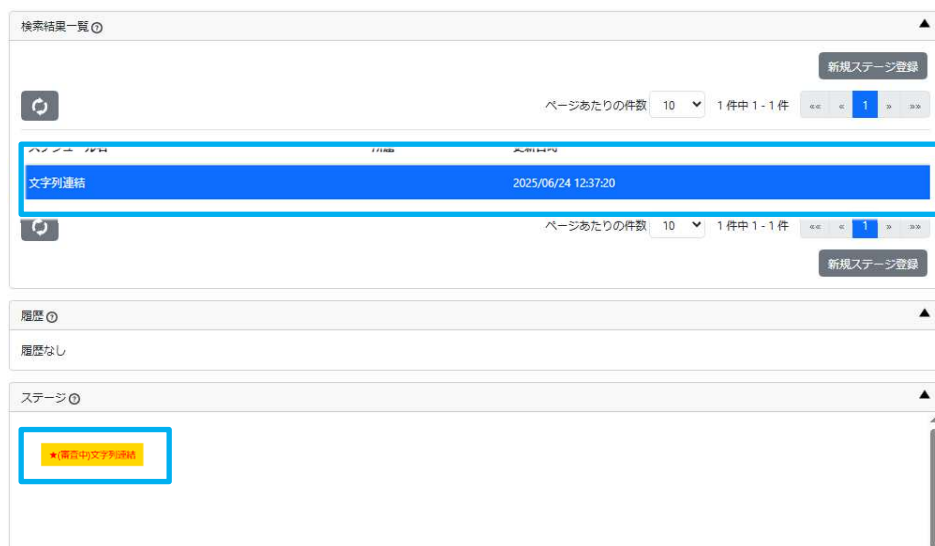
スケジュールが登録されます。

## 10.3 シナリオを実行する


承認してスケジュールを実行してみましょう。

### Steps

1. フロー画面を表示します。
  - ① WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。
  - ② 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択します。
  - ③ 「ステージ」エリアで要素をクリックします。承認待ちの要素は黄色で表示されています。



「詳細情報」エリアが表示されます。

 承認待ちのユーザが WinActor Manager にログインするとダッシュボードに承認待ちのスケジュールがあることが表示されます。スケジュール名をクリックすると「進捗」画面に遷移しますので対象のスケジュールを選択して承認を行ってください。



## 2. 承認します。

- 1 [連携パラメータ] 欄の [承認] ボタンをクリックします。

詳細情報 ①

ステージID [6ybfmdekAkeOk5o4DkjaA](#)

所蔵

シナリオに関する情報

シナリオ名 [文字列連結](#)

スケジュールに関する情報

スケジュール名 [文字列連結](#)

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

分割元スケジュールID

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

実行指定 種別

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する

有効/無効 有効

メモ

データ駆動

タスクに関する情報

タスク名

状態 待機中

入力パラメータ

名前	型	値	説明
InputString1	文字列	WinActor Managerで、	
InputString2	文字列	シナリオを実行しました。	
承認	承認	<a href="#">winactor01</a>	

連携パラメータ

名前	型	情報	説明
承認	承認	<a href="#">winactor01(審査中)</a>	

承認

シナリオを実行するための入力パラメータ、連携パラメータがすべて揃うと編集できなくなります

データ一覧ファイル

データ分割数 1

実行予定WinActor 指定なし

登録日時 2025/06/24 12:37:20

実行に関する情報

出力パラメータ

アーカイブファイル

開始日時

終了日時

更新日時 2025/06/24 12:37:20

リトライ実行済み回数 0

- 2 [承認] ラジオボタンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

承認 ①

承認 ☒ 承認 ☐ 却下

コメント

200文字以下

OK

キャンセル

- ③ 承認が終わると実行が開始されます。「検索結果一覧」エリアまで画面をスクロールし、対象のスケジュールをクリックします。
- ④ 「履歴」エリアに新しい行が表示されているのでクリックします。
- ⑤ 「ステージ」エリア内の要素の色が変わっています。承認後に実行したタスクが正常終了したことがわかります。



- ⑥ タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。





---

NTT アドバンステクノロジー株式会社

© 2026 NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。

本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

WMC-T-2026-0216

---